

岩手県不動産市場動向に 関するアンケート調査結果

第26回調査（令和5年10月1日時点）

令和6年1月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

岩手県不動産市場動向に関する第26回アンケート調査の実施によせて

平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

東日本大震災を契機に3協会の共同で始めました岩手県不動産市場動向に関するアンケート調査（第26回）結果の概要は以下のとおりです。

- ① 住宅地については、価格DIは、県央部及び内陸南部がプラス、他の地域はマイナス。予測では、県央部のみプラス。
取引件数DIは、実感・予測ともに全地域でマイナス。
- ② 商業地については、価格DIは、実感・予測とも県央部のみプラス。他の地域はマイナス。
取引件数DIは、住宅地と同様に、実感・予測ともに全ての地域がマイナス。
- ③ 中古住宅については、価格DIは、実感・予測いずれも県央部のみプラス。他の地域はマイナス。
取引件数DIは、全地域でマイナス。予測では、県央部のみ横ばいで、他の地域はマイナス。
- ④ DXに係る取り組み事例として、オンラインによる内見・契約、IT重説など書類の電子化等の回答が寄せられた。

①、②及び③について、住宅地価格DI、商業地価格DI及び中古住宅価格DIは、県央部が3指数ともプラスを継続したほかは、住宅地価格における内陸南部のプラス（プラス幅は縮小）を除き、いずれもマイナスの結果となりました。また、6か月後の予測は、いずれも県央部のみプラスとなっており、県域内において、県央部と他の地域で二極化している情勢となっています。住宅地取引件数DI、商業地取引件数DIをみると、県央部を含め、実感・予測とも全ての地域でマイナスの結果となり、資材価格等の高騰による建築費の上昇から、需要者が土地の取得について慎重になっている状況が伺われます。

④については、具体的な取り組みを行っていないとする回答も多く寄せられました。費用対効果などの面から、営業規模等による実施における差異が伺え、また、どこから、どのように始めたら良いか分からないため、業界において一定程度スタンダードが醸成されるのを待っている現状も推察されました。

3協会では、当アンケート調査が、復興の推進、市場関係者の意思決定に資するものとなるよう、改善を施しながら継続していきたいと考えておりますので、今後とも、当該調査活動にご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。最後に、ご業務のなか貴重なお時間を割いて当調査にご理解とご協力を下さいました会員の皆様に、心より感謝いたします。

令和6年1月

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
会長 多田 幸司

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
本部長 浅沼 儀洋

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
会長 佐藤 真

目 次

〔1〕 岩手県不動産市場動向調査の概要	1
1. アンケート調査の概要	1
2. 動向判断指数（DI）等について	3
3. アンケート調査票	4
〔2〕 アンケート集計結果	6
1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析	6
(1) 調査結果の概要	6
(2) 動向判断指数（DI）による分析	13
2. 設問ごとの回答内訳	19
問3 取引価格の6ヶ月前（R5.4.1時点）との比較	19
問4 6ヶ月後の取引価格の予測	21
問5 取引件数の6ヶ月前（R5.4.1時点）との比較	23
問6 6ヶ月後の取引件数の予測	25
問7 賃料の6ヶ月前（R5.4.1時点）との比較	27
問8 入居率の6ヶ月前（R5.4.1時点）との比較	28
お問い合わせ窓口等	29

〔1〕岩手県不動産市場動向調査の概要

1. アンケート調査の概要

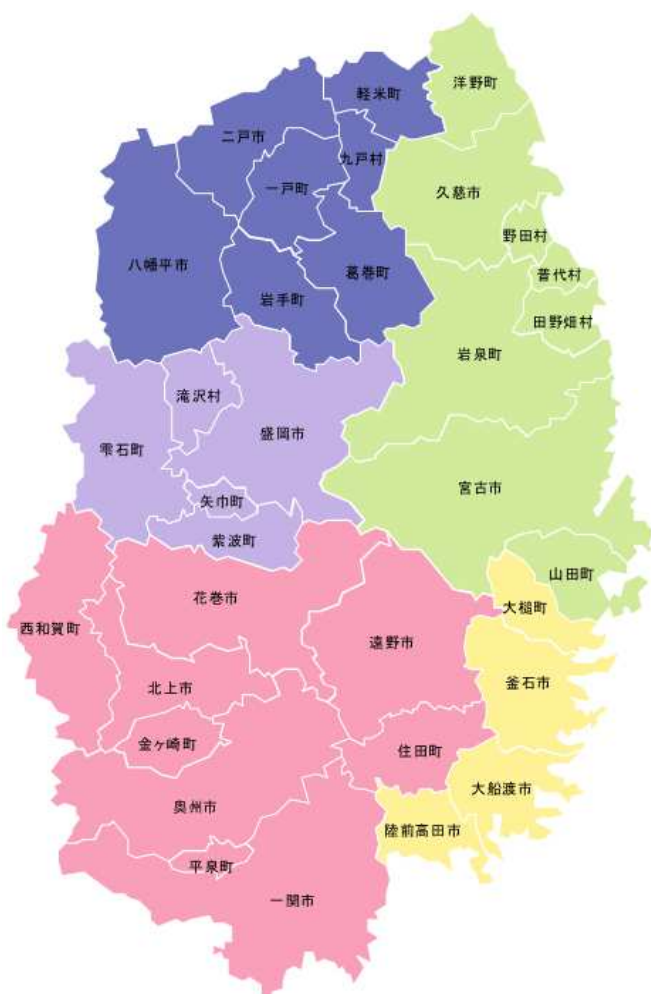
一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会、公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部及び一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会の三者共同で、令和5年4月1日（第25回調査時点）から令和5年10月1日（第26回調査時点）までの6ヶ月間の不動産市場の推移に関する実感と、この先6ヶ月間（R5.10.1～R6.4.1）の市場動向に関する予測、不動産市場の特徴的な動き、国・県・市町村等に対する要望・意見等についてアンケート調査を実施した。アンケートの対象は一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員である。

なお、本調査は3ページのとおり定性調査であり、具体の取引件数、成約価格等の定量調査ではない。

- (1) 実施時期 令和5年10月
- (2) 調査方法 一般社団法人岩手県宅地建物取引業協会及び公益社団法人全日本不動産協会岩手県本部の会員に対するアンケート調査
- (3) 発送数 727
- (4) 回収数 198 (回収率：27.2%)
- (5) 地域区分 沿岸北部、沿岸南部、県央部、内陸北部、内陸南部の5つに地域区分し集計した。

問1：回答者の主な営業地域

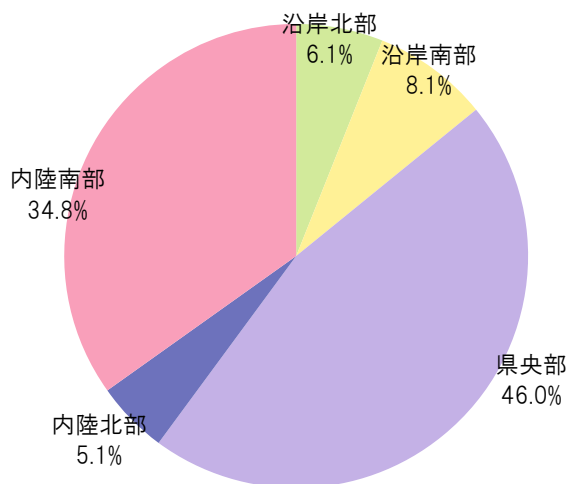
〈各市町村の地域区分〉



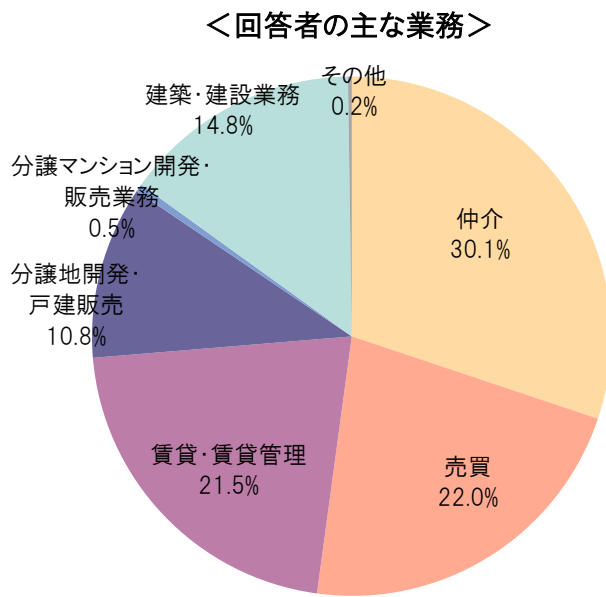
地域区分	地区名	発送数	回答数	回収率
	沿岸北部	52	12	23.1%
	沿岸南部	39	16	41.0%
	県央部	362	91	25.1%
	内陸北部	29	10	34.5%
	内陸南部	245	69	28.2%
	合計	727	198	27.2%

※回収率は、発送数を事務所所在地を基準とし、回答数は、主な営業地域により計算している。

〈回答者の主な営業地域〉



問2：回答者の主な業務

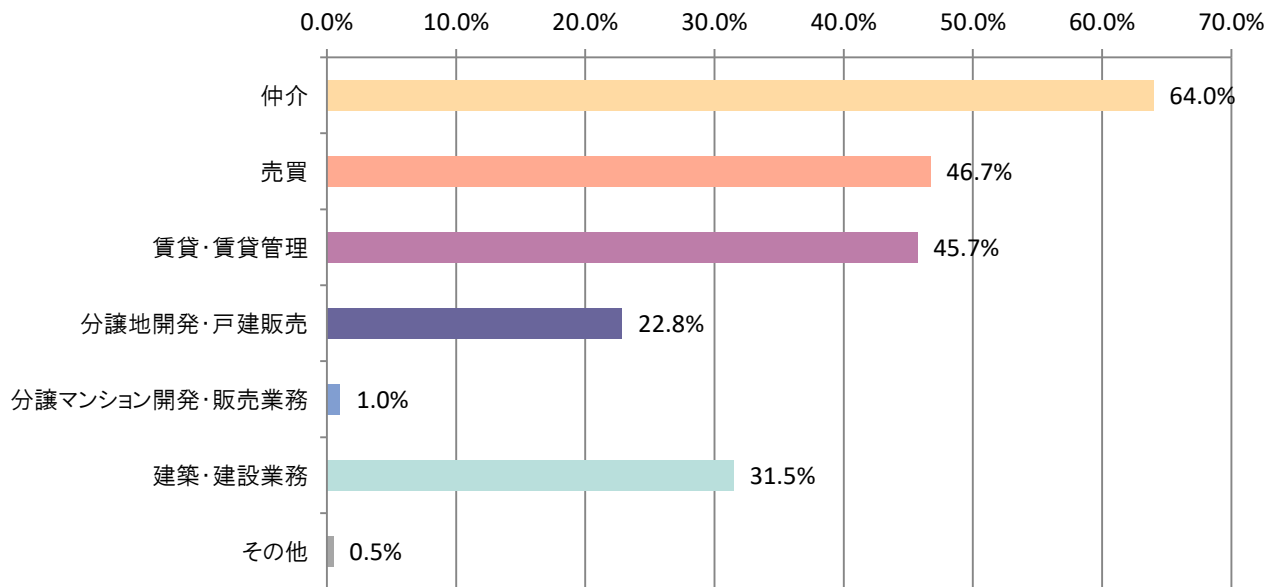


主な業務についての回答	
回答の有無	回答数
回答あり	197
回答なし	1
合計	198

主な業務	回答数
仲介	126
売買	92
賃貸・賃貸管理	90
分譲地開発・戸建販売	45
分譲マンション開発・販売業務	2
建築・建設業務	62
その他	1
合計	418

(複数回答あり)

回答者の主な業務の回答割合(主な業務の回答数÷回答ありの回答数)



仲介、売買を主な業務としている会員が多い。

2. 動向判断指数（DI）等について

（1）動向判断指数（DI）

① DIとは

DIとは、Diffusion Index（ディフュージョン・インデックス）の略で、現状や先行きの見通し等についての定性的な判断を指標として集計加工した指数であり、経済指標等において広く活用されている。

本調査においては、DIとして指数化することにより調査項目の時系列把握や地域間比較を行ったりすることが容易となる。

2 DIの算出方法

本調査におけるDIの算出方法は、各判断項目について上昇（増加）から下落（減少）までの5段階または3段階の選択肢を用意し、選択肢毎の回答数を単純集計して全回答数に対する構成比率を求め、次式により算出する。

<算出方法（5段階の例）>

住宅地の地価	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D	E	F

$$DI = \{ (A \times 2) + (B \times 1) + (D \times -1) + (E \times -2) \} \div 2 \div (A + B + C + D + E) \times 100$$

<算出方法（3段階の例）>

建築資材の価格	上昇	横ばい	下落	不明 無回答
回答数	A	B	C	D

$$DI = (A - C) \div (A + B + C) \times 100$$

※DIが0.0以上となれば回答者は市況に対して前向きに考えていると言え、理論上のDIの幅は、プラスマイナス100の範囲となる。

（2）中央値

中央値とは、データを大きさの順に並べたとき、全体の中央にくる値、データの数が偶数の時は、中央にある二つの値の平均値。

3. アンケート調査票

岩手県不動産市場動向アンケート(第26回)

■問1 県内における御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業地域についてお聞かせ下さい。

(最も取引件数の多い市町村をひとつ選んで○をつけるか、【】内に記載してください。例：奥州市江刺、一関市大東町等)

- 1.盛岡市 2.八幡平市 3.滝沢市 4.紫波町 5.矢巾町 6.雫石町 7.岩手町 8.葛巻町 9.花巻市 10.遠野市 11.北上市
 12.西和賀町 13.奥州市 14.金ヶ崎町 15.一関市 16.平泉町 17.久慈市 18.洋野町 19.野田村 20.普代村
 21.田野畑村 22.二戸市 23.一戸町 24.軽米町 25.九戸村 26.宮古市 27.釜石市 28.大槌町 29.岩泉町
 30.山田町 31.大船渡市 32.陸前高田市 33.住田町 【 】

■問2 御社(支店・営業所の場合は当該支店・営業所)の主な営業業務についてお聞かせ下さい。
 (○印をお願いします。複数回答可)

- 1.仲介業務 2.売買業務 3.賃貸・賃貸管理業務 4.分譲地開発・戸建販売業務
 5.分譲マンション開発・販売業務 6.建築・建設業務 7.その他()

以下、設問3～8は、調査・集計の性格上、可能な限り1～5の選択肢でのご回答をお願いします。地域によっては、取扱いがない、もしくは極めて少ない不動産(例：産業用地)の場合、「6.不明」の場合もあるかと思います。

■問3 現在(R5.10.1時点)の主な営業地域の取引価格は、6カ月前(R5.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

※1 産業用地は、工場・倉庫・物流施設用地、資材置場用地等についてご回答をお願いします、以下同様です。

■問4 6カ月後(R6.4.1時点)の主な営業地域の取引価格は、現在(R5.10.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 商業地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 産業用地の地価： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明
 中古住宅の価格： 1.大きく上昇 2.やや上昇 3.横ばい 4.やや下落 5.大きく下落 6.不明

■問5 現在(R5.10.1時点)の主な営業地域での取引件数は、6カ月前(R5.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問6 6カ月後(R6.4.1時点)の主な営業地域での取引件数は、現在(R5.10.1時点)と比較してどうなると予測しますか？

- 住宅地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 商業地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 産業用地の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明
 中古住宅の取引： 1.大きく増加 2.やや増加 3.横ばい 4.やや減少 5.大きく減少 6.不明

■問7 現在(R5.10.1時点)の賃料は、6カ月前(R5.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

その他不動産の家賃： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや下落 5. 大きく下落 6. 不明

■問8 現在(R5.10.1時点)の入居率は、6カ月前(R5.4.1時点)と比較してどのように感じていますか？

住居系不動産の入居率： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

その他不動産の入居率： 1. 大きく上昇 2. やや上昇 3. 横ばい 4. やや低下 5. 大きく低下 6. 不明

■問9 営業地域の不動産取引で特徴的なことがありましたら教えてください。

■問10 近年、不動産業界においてもデジタル・トランスフォーメーション（以下、「DX」という）と呼ばれるデジタル化の波が進展しつつあります。貴社におけるDXに係る取り組み事例や、DXに期待すること等があればご教示ください。

（記載例：重要事項説明の書面を電子化したことで業務効率が改善した。etc.）

■その他（先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等へのご意見・要望などを、ご自由にお書きください。）

以上で質問は終了です。お忙しいところ、ご協力ありがとうございました。本アンケート用紙は、令和5年10月30日(月)までに次のFAX番号宛に送信、又は同封の返信用封筒にて返信をお願いいたします。

一般社団法人岩手県不動産鑑定士協会 FAX番号 019-622-8485

差し支えなければ、下記についてご回答をお願いいたします。本アンケートの集計結果の送付を希望される場合は、貴社名・〒番号・ご住所は必ず記載をお願いいたします。（タナ版を押して頂ければ結構です。）

所 属 協 会 どちらかに○印をつけてください 貴社名(営業所・支店名) 〒 番 号 ・ ご 住 所 電 話 番 号 ご 担 当 者 ※ 調 査 結 果 の 送 付	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会 </td> </tr> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">→</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部 </td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 希望する 希望しない ←○印をつけてください </div>	→	<input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会	→	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部
→	<input type="checkbox"/> 一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会				
→	<input type="checkbox"/> 公益社団法人 全日本不動産協会 岩手県本部				

〔2〕アンケート集計結果

1. 調査結果の概要と動向判断指数（DI）による分析

（1）調査結果の概要

■ 住宅地の価格

引き続き県央部と内陸南部がプラス。前回にマイナスのトレンドに回帰した内陸北部は、マイナスを継続。沿岸北部及び沿岸南部は、依然として大幅なマイナス。予測は、県央部のみがプラスとなった。

過去5回（R3/4、R3/10、R4/4、R4/10、R5/4）から今回調査（R5/10）に至る住宅地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲57.1⇒▲32.1⇒▲16.7⇒▲45.5⇒▲31.3⇒▲31.8、沿岸南部が▲25.0⇒▲29.4⇒▲21.9⇒▲28.6⇒▲35.7⇒▲40.0と、両地域ともに依然として大幅なマイナスで推移しており、住宅地需要が低迷する状況が続いている。

その他の地域は、県央部が11.8⇒19.8⇒30.4⇒30.0⇒28.1⇒22.9と、引き続き堅調な結果となった。また、前々回プラスに転じた内陸南部が▲4.4⇒▲3.0⇒0.0⇒4.8⇒12.5⇒2.4と、プラス幅は縮小したもののプラスを継続した。一方、前回マイナスに回帰した内陸北部は▲14.3⇒▲8.3⇒▲21.4⇒10.0⇒▲13.6⇒▲5.0と、引き続きマイナスとなった。

■ 商業地の価格

前回マイナスのトレンドに回帰した内陸北部が引き続きマイナスとなり、実感・予測とも、県央部のみがプラスの結果となった。

過去5回から今回調査に至る商業地価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲42.9⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲25.0⇒▲33.3⇒▲30.0、沿岸南部が▲28.6⇒▲26.7⇒▲16.7⇒▲28.6⇒▲28.6⇒▲35.7と、引き続きマイナスとなり、住宅地と同様に需要の低迷が継続している。

その他の地域は、県央部が▲7.5⇒▲1.6⇒5.1⇒9.8⇒14.2⇒11.5と、プラスの推移が続いている。また、前回マイナスに回帰した内陸北部は▲25.0⇒▲20.0⇒▲30.0⇒11.1⇒▲22.2⇒▲7.1、内陸南部が▲17.6⇒▲13.9⇒▲14.6⇒▲1.6⇒▲1.0⇒▲6.0と、引き続き両地域ともマイナスとなっている。

■ 中古住宅の価格

前回マイナスのトレンドに回帰した内陸北部が引き続きマイナス、前回プラスに転じた内陸南部が再びマイナスとなり、実感・予測ともに、県央部のみがプラスとなった。

過去5回から今回調査に至る中古住宅価格DI（実感）の推移をみると、沿岸北部が▲58.3⇒▲25.0⇒▲26.7⇒▲15.0⇒▲28.6⇒▲31.8、沿岸南部が▲30.8⇒▲34.4⇒▲28.6⇒▲19.2⇒▲38.5⇒▲33.3と、依然としてマイナスの推移を継続している。

その他の地域は、県央部が3.8⇒11.5⇒21.9⇒25.0⇒26.0⇒17.5と、引き続きプラスであった。前回マイナスに回帰した内陸北部は▲21.4⇒▲14.3⇒▲25.0⇒10.0⇒▲9.1⇒▲10.0と、マイナスを継続し、前回プラスに転じた内陸南部は▲11.3⇒▲4.1⇒▲3.4⇒▲1.5⇒3.8⇒▲8.3と、再びマイナスに回帰した。

■ 賃料

住居系不動産賃料は、内陸北部がプラスを継続し、内陸南部がプラスから横ばいとなった。他の地域はマイナスを継続。

■ 問9：営業地域における不動産取引で特徴的な事項

① 沿岸北部

(久慈市)

- ・ 土地売買の動きが悪い。建物材料代が高騰しているため、土地を安く買い求めようとする動きが見られる。本来なら求めないような水害の危険性が高い場所を安価で求める傾向が見受けられる。

(宮古市)

- ・ 産業別で好・不況の波があり、売上が前年度に比較して半分に落ち込んでいる所も見られ、今後売却処分する傾向になりつつあると予想される。
- ・ 相続したが、売却したい（盛岡などに新居があるため）相談が多い。

(山田町)

- ・ 取引実態がない。

② 沿岸南部

(釜石市)

- ・ 他県（宮城県）や他市からの物件購入希望があった。

(大船渡市)

- ・ 山林・農地の売却希望者が少しずつ増加している。
- ・ 取引一件の価格は、全体的に減少傾向にあるように思う。取引の種類は、一般住宅用地が占める割合が増え、商業・事業用の勢いは減衰しているように思う。
- ・ 災害危険区域の土地で第2種C指定のため、建築基準法第39条1項によれば、地下に居室を設置しなければ建築可能だから、市に念のため住宅新築可能かどうか確認の為、問い合わせたところ、防集高台移転の代替地交換の関係でシバリがあるとのことだ。つまり、不可能かも知れないとのこと。登記簿謄本にもシバリの記載は当然なく、当該地に看板などのシバリの記載はない。実は分筆測量を実施しており、代替地シバリなどは、市が防集高台移転の窓口なのだから、シバリのリストを作成して、一目瞭然、問い合わせがあったら即答できるよう用意しておくべきと思う。（大船渡市）

③ 県中部

(盛岡市)

- ・ 社内で不動産取引を縮小傾向。
- ・ 既存物件の空室が目立つ。家賃を下げてもなかなか決まりにくい状態。
- ・ 人気の地域とそうでない地域の間で格差が出ている。
- ・ 建売住宅の問い合わせが価格の上昇にともない減少。
- ・ 医大周辺約500区画来年完成。
- ・ 二極化の加速。
- ・ 取引事例が少なく査定が難しい。
- ・ 関東又は他市町村より盛岡周辺エリアでの中古物件の問い合わせが多いが、マンパワー不足で対応しきれていない。
- ・ 異常気象の多発から、ハザードマップへの関心が高まっている。

- ・ 新型コロナで模様眺めの感があったが、だんだんと人出が回復し、売るんだったら今かといいた感じの売却相談が増えてきていると感じる。
- ・ 土地に関して、値下げすることなく販売価格で成約することが多い。
- ・ 建築資材の高騰により、土地価格を抑えたい希望者が増えている。地価が上昇し探すのが難しい。
- ・ 売却相談が増えてきた。
- ・ 市内中心部においてはテナント等の入居は減少。企業（営業所・事業所）の撤退や郊外への移転等により減少傾向になる。
- ・ 建築資材の高騰と土地価格の高価格により取引件数が大きく低下している。
- ・ 住宅メーカーの土地の買い占めが減った。
- ・ 若い人の宅地購入が増えた。

（紫波町）

- ・ 資材高騰により建築費が高くなり家を建てる人が減少。
- ・ 土地の分譲が供給過多になり、分譲の在庫が出始めている。

④ 内陸南部

（花巻市）

- ・ 家賃ではなく付加の賃料が大きく上昇。更新手数料とか保険料など。
- ・ フルリフォーム物件よりも割安な価格への反響が増加している。
- ・ 売地（宅地）が少ない。

（遠野市）

- ・ 遠野地域においてはSMCの会社関連企業の工場が盛んに工事している。完成と同時に人口増加が考えられることから不動産取引・新築工事が多くなるのではと思う。
- ・ 新築工事が多くなるのではと思う。
- ・ 人口減少が著しい。

（北上市）

- ・ 借地取引も一度落ち着いたように思える。商用テナントは落ち着きが見える。

（奥州市）

- ・ 田舎移住を検討している方が多くみられる。自分の持ち家を賃貸したり、売却する計画の人が多い。
- ・ 空室が多くなった。
- ・ 建物（住宅）の新築価格が高止まりのため、宅地価格の値引きによる価格の下落を感じている。

（一関市）

- ・ 農地や中古戸建（かなり古い戸建）の値付けの方法を所有者にしっかりと告知できていないと感じる。農地を普通の宅地と同じように価格付けしている業者が見える。流通に支障あり。
- ・ お持ちの土地を活用しての建築が増えてきているように感じる。

（平泉町）

- ・ インボイスの関係で個人事業主から営業用土地・建物について問い合わせ（書面取交わり発行等）が多数あり。対応に追われている。

■ 問10：DXに係る取り組み事例や、期待すること等

① 沿岸北部

(宮古市)

- ・ DXよりも法改正により、煩雑な義務をなくしてほしい
- ・ 県外の売主との面談などをオンライン化したいが不安な面もあり出来ていない。

(山田町)

- ・ 実施していない。

② 沿岸南部

(釜石市)

- ・ 売買における現金受領（手付金・残金）をすべて電子振込としたこと。

(大船渡市)

- ・ 各人の業務スケジュールをパソコンで管理してもらい、ネットワークを介し全体に共有化することで社員同士の業務日程を把握しやすいようにした。
- ・ DXは以前から実施済。

(陸前高田市)

- ・ LINE公式アカウントを使用して、チャットでのやりとりを可能にした。
- ・ テレビ電話を利用したオンライン内見、オンライン契約の実施。
- ・ WEBからの24時間受付可能な予約サイトの利用。

③ 県中部

(盛岡市)

- ・ DXについては今のところ実行していない。
- ・ IT重説は効率は良いが、書面の電子化は、まだまだ業者もお客様も抵抗がある。
- ・ 具体的な導入は、まだしていない。
- ・ 現状、大きな取り組みは行っていない。
- ・ 取り組みはない。
- ・ 取り組み事例は、賃貸におけるIT重説・WEB申込一業務効率化。
- ・ 期待することは、賃貸・売買における大手企業先導による電子契約の標準化。
- ・ 市町村がおこなっている空家バンクへ登録した盛岡市外の売却困難な年数経過した物件（40～50年）は、県外からの問い合わせが多く、成約時の重要事項説明が遠方でもスムーズに行えた。
- ・ DXの知識がないので、いろいろ教えてほしい。成功している会社に学ばせてほしい。
- ・ 顧客管理のクラウド化による書類削減や効率化。
- ・ 来店などの度合の減少傾向は、以前より予想はできていた。今後における対応としては、同じと考える。
- ・ IT重説を活用することで業務効率が改善された。
- ・ 高齢者相手の取引が多いので（売主）、あまり変わりがない。

- 電子申込み。
- 契約書、重説その他資料をパソコンにデータとして入力。紙を廃棄処分。

④ 内陸南部

(花巻市)

- あまり対応せず。
- 顧客情報と物件を結び付けて一元的に管理できるシステムを導入した。これにより全社で顧客情報を閲覧可能となった。

(遠野市)

- デジタル化については未だ取り組みが出来ていない。ZOOMでのセミナー参加程度。小規模なため不便を感じていない。

(北上市)

- 法人単独で電子取引を試みるも、操作の安易な提供サイトへ活用は向かう。書面をオンラインにしても、会社で保存をし続けるのは難がある。

(奥州市)

- 今のところDXの取り組みはしていない。ゆくゆくは取り組まなければならないと思っている。
- まだ検討中。実施予定ではある。
- 署名について、筆跡による本人確認によるものとし、印鑑はなしにしていくことなど。

(一関市)

- 運転日報を電子化し業務効率改善。
- 取引の相手方個人がデジタルに特化していない例が多い中難しい。業者間とか相手が法人の場合は便利で素晴らしいと感じる。

■ その他（先行きの動向予測や、国、県、市町村、当調査等への意見・要望等）

① 沿岸北部

（宮古市）

- ・ 最近になって各市町村が空家対策事業に取り組むようになったことから、中古住宅売買取引が多くなってきている。
- ・ 法規制の緩和。重説やレインズの義務などなくしてほしい。
- ・ 建物の減失による固定資産税の上昇があるため相続物件の空家解体に支障がある。古屋付土地の売れ残りが増加している。

（山田町）

- ・ 先行見通しゼロと推察される。

② 沿岸南部

（釜石市）

- ・ 三陸道、釜石道の開通前・開通後の流動性がわかる資料があると良い。

（大船渡市）

- ・ 農業振興地域の見直し期間が長くなり、農家も担い手不足で売却したい希望者が多いけれども対応できない。
- ・ 震災需要も大分前に収束し、新たな産業も生まれる様子も今のところない。まずは人口の流出に歯止めをかけるため、労働人口が増えるように大型企業進出がしやすいような施策を講じてほしいと考える。
- ・ 物価上昇等の影響によるインフレ局面において、住宅新築から中古住宅にシフトの傾向。

③ 県央部

（盛岡市）

- ・ 所有者不明の土地（特に私道）などの許可制度を、もっと楽に出来る様にして欲しい。
- ・ 土地・建物の価格が上昇しているなので、その分建物の面積を小さく計画する傾向が増加すると感じる。
- ・ 相続財産国庫帰属制度をもっと加速して承認してほしい。
- ・ 紫波郡矢巾町の土地の動向が知りたい。
- ・ インボイスに関連し、店舗系の賃料引き下げ要求がある。貸主借主の立場は相応に理解するも、借主の申出が強すぎると思われる。仲介業者としてはどのように相談に応じたら良いか困っているのでご教示願いたい。
- ・ 市街地再開発における盛岡市独自の活性化案に期待。
- ・ 盛岡市の上下水道図面・道路台帳等をオンラインで取得できるようにならないか？宅建業とは県知事の免許を受けているので・・・というのを要望したい。

④ 内陸南部

（遠野市）

- ・ 町が中心になって土地の分譲等を行えば、後に区画整理に莫大な費用をかけなくても良いのと思う。

- ・ 山間地域の遠野市は人口減少・高齢化・独居老人に伴い、空家も800件と多く、これから増加すると考えられている。空家対策として司法書士が代表者となり、相続を行い中古住宅としての販売または活用を目指しているが、うまく進めば良いとは思う反面、難しいと思う。

(北上市)

- ・ 営業エリアである北上市において、キオクシアの方針変更に伴う地域経済の影響に注視していきたい。

(奥州市)

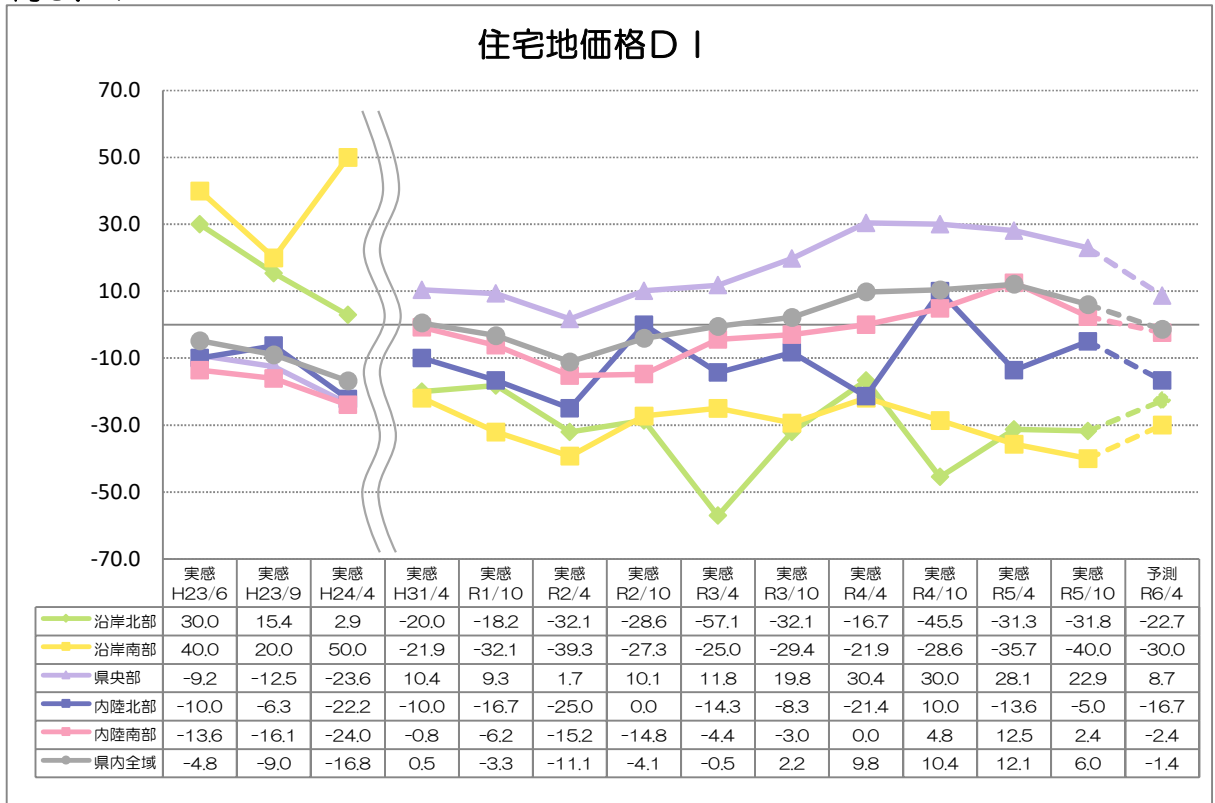
- ・ 農転申請の許可が前年より半月位遅れているようで建築業者の着工に影響が出ている。

(一関市)

- ・ インボイス制度開始により登録業者からの賃貸取引の停止。
- ・ 賃貸や売買における契約者からの消費税の取扱いに伴う価格交渉・インボイスの要求で、取引未成立が懸念される。
- ・ 建築（住宅・事業用）大きく低下傾向あり。景気が良くなる対策を求めたい。
- ・ 岩手県内だと、やはり北上・江刺が物件数多く感じる。
- ・ ますます相続物件（空家）が増加すると思う。解体費用のアップは市場を圧迫している。解体費用の補助を希望する。

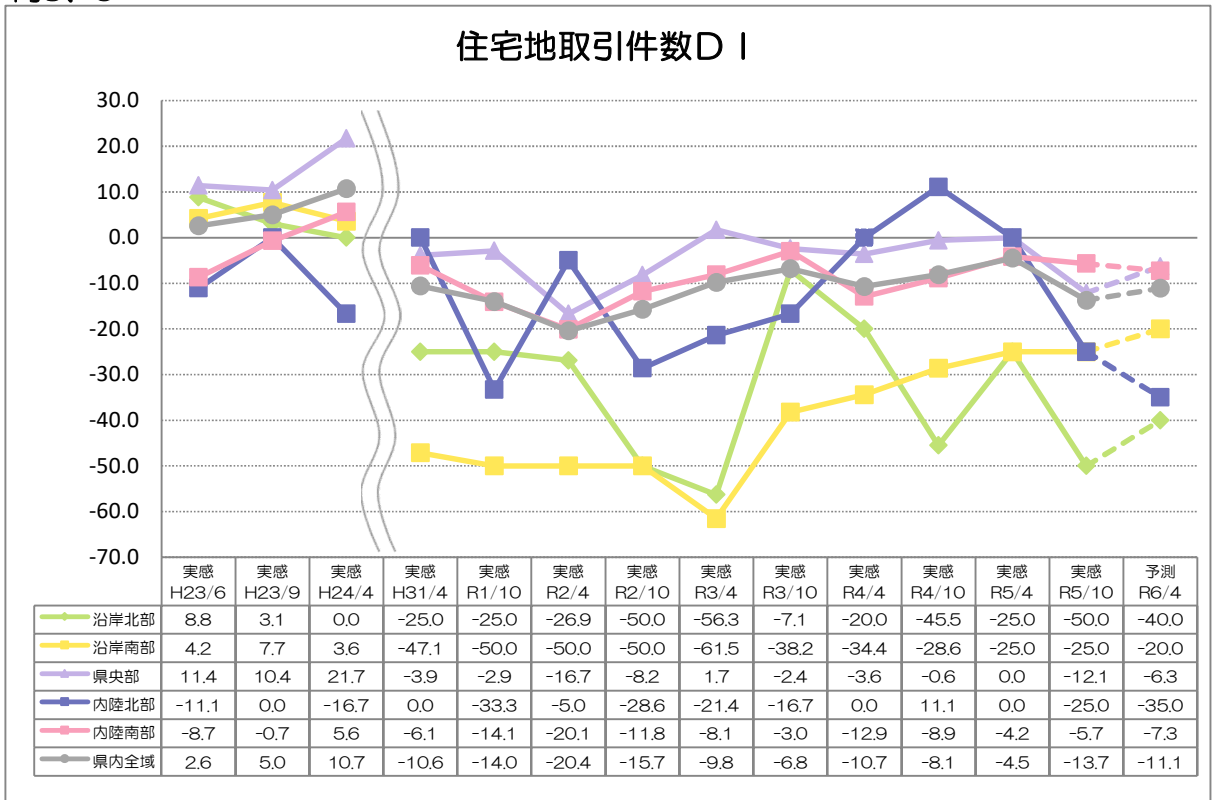
(2) 動向判断指数 (DI) による分析

問3、4



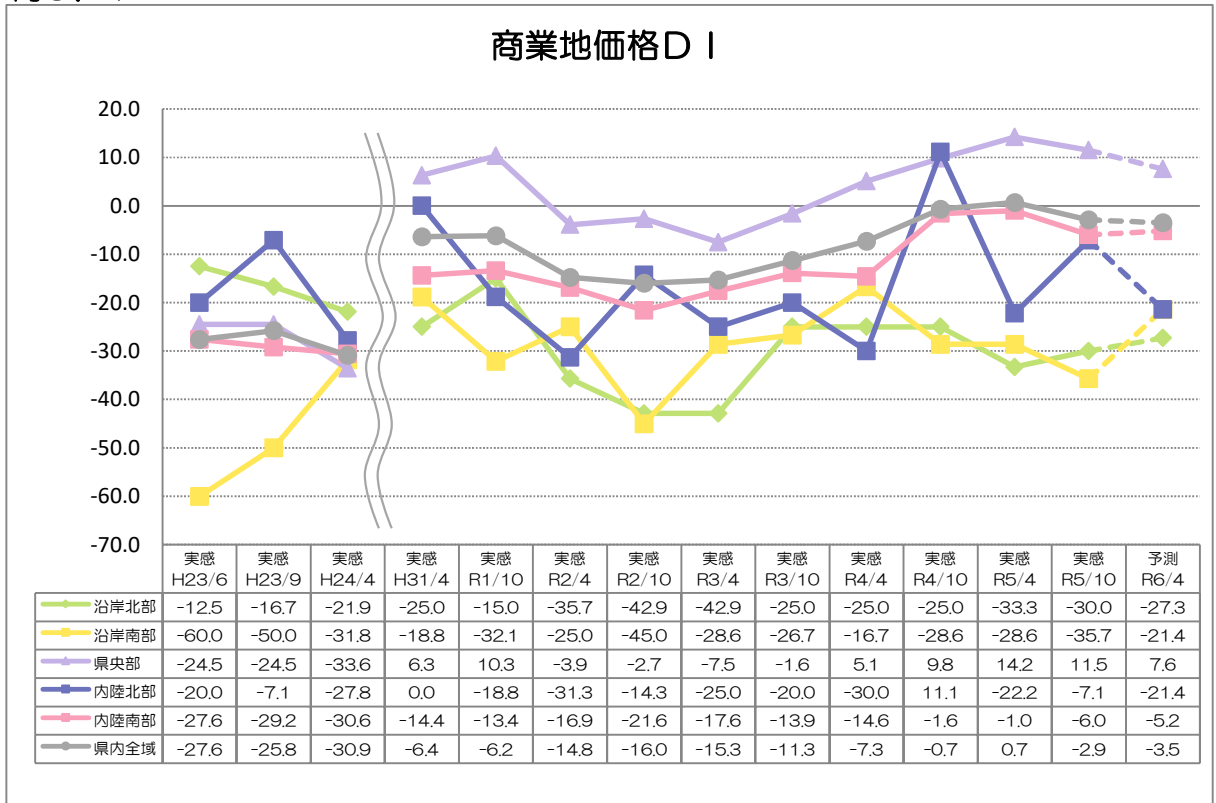
※実感H23/6は第1回調査（H23.6.1時点）の調査結果、実感H23/9は第2回調査（H23.9.1時点）の調査結果、実感H24/4は第3回調査（H24.4.1時点）の調査結果で、以後半年ごとの調査。（以下同様）

問5、6

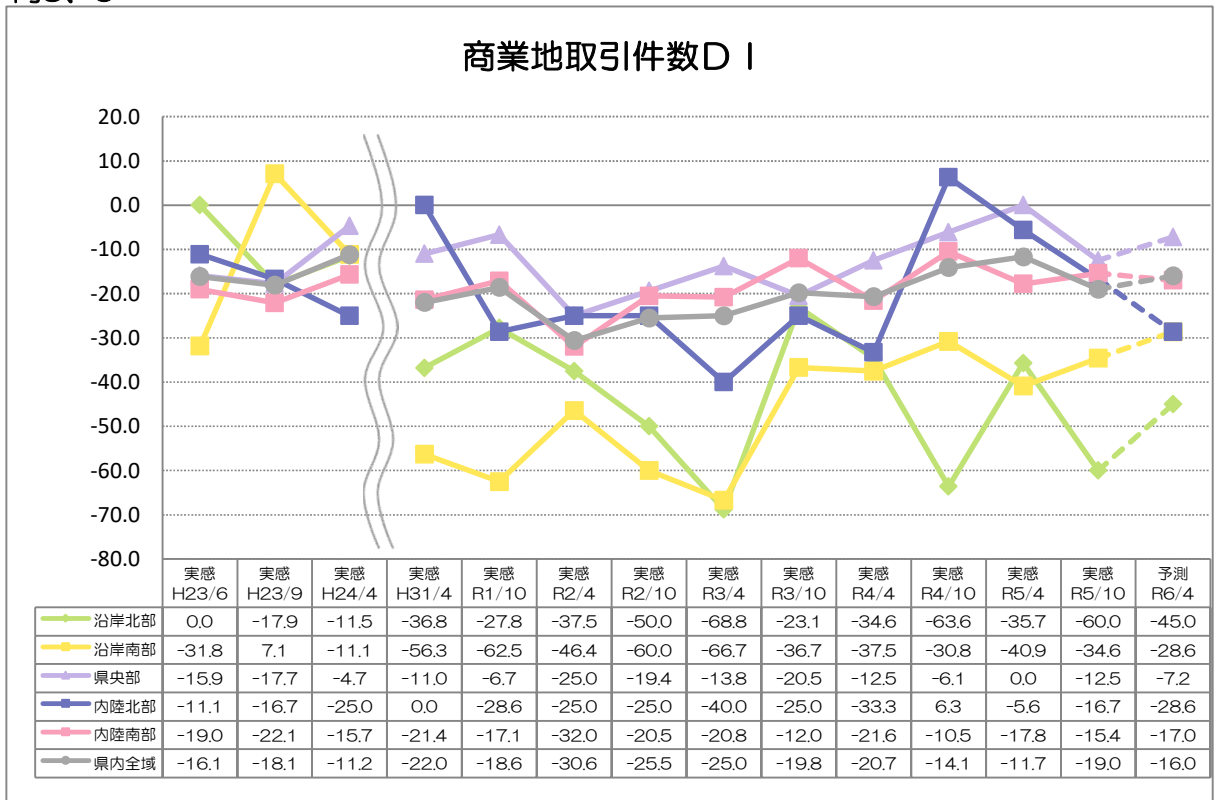


- 住宅地価格DIは、実感は県中部及び内陸南部がプラス、予測は県中部のみプラス。
- 住宅地取引件数DIは、県中部及び内陸北部の実感が横ばいからマイナスとなり、実感・予測とも全ての地域でマイナス。

問3、4

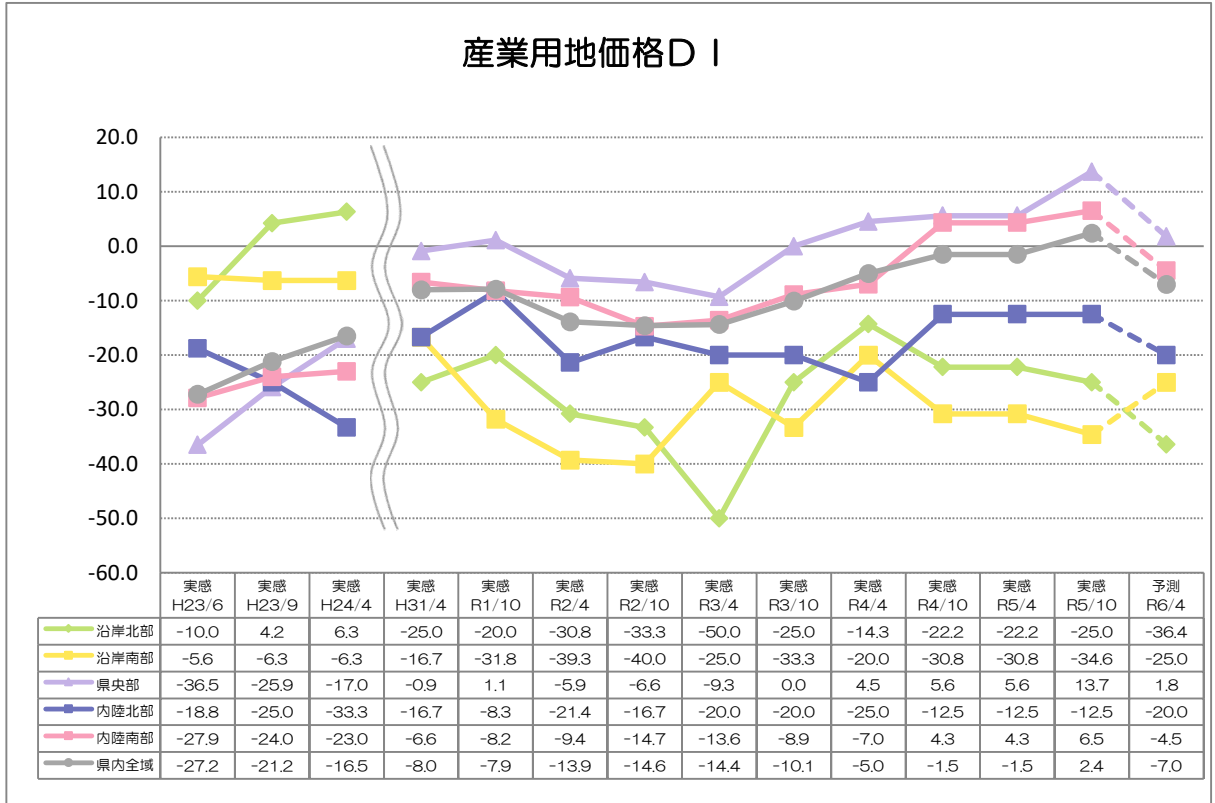


問5、6

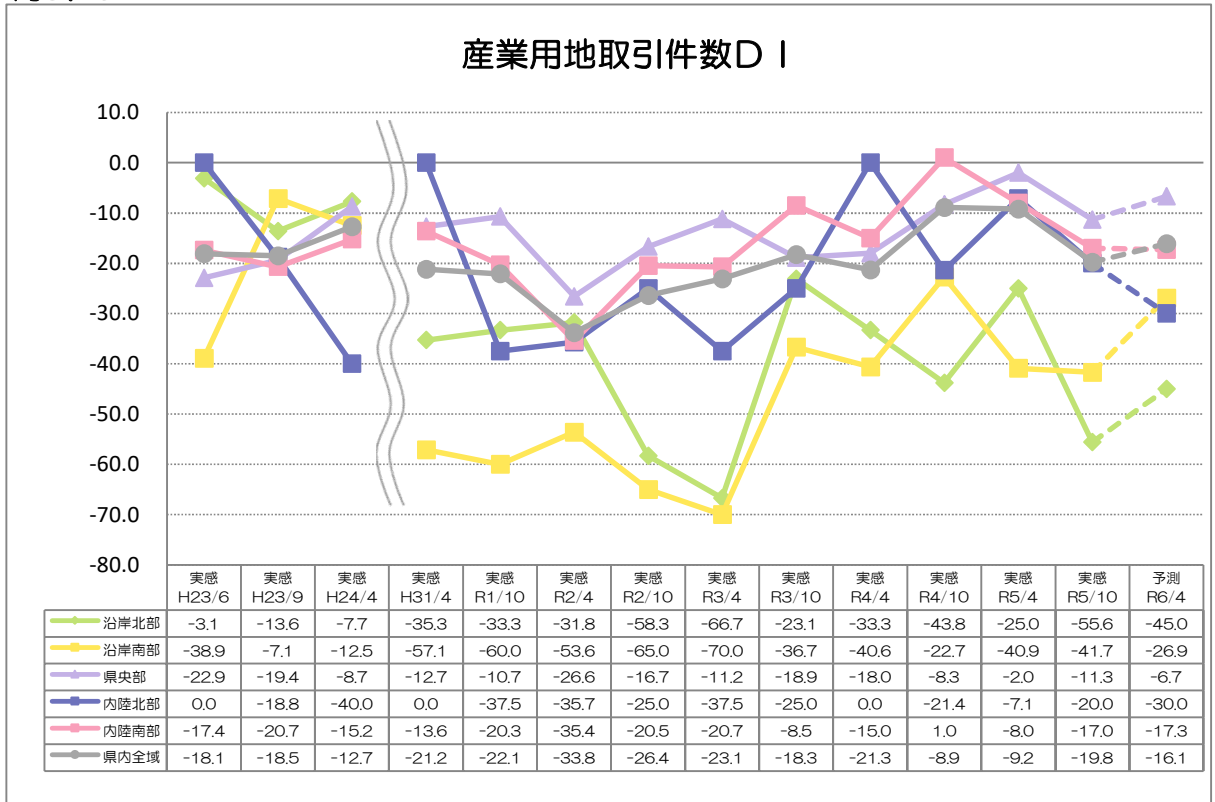


- 商業地価格DIは、実感・予測ともに県央部がプラス、他の地域はマイナス。
- 商業地取引件数DIは、県央部の実感が横ばいからマイナスとなり、実感・予測とも全ての地域でマイナス。

問3、4

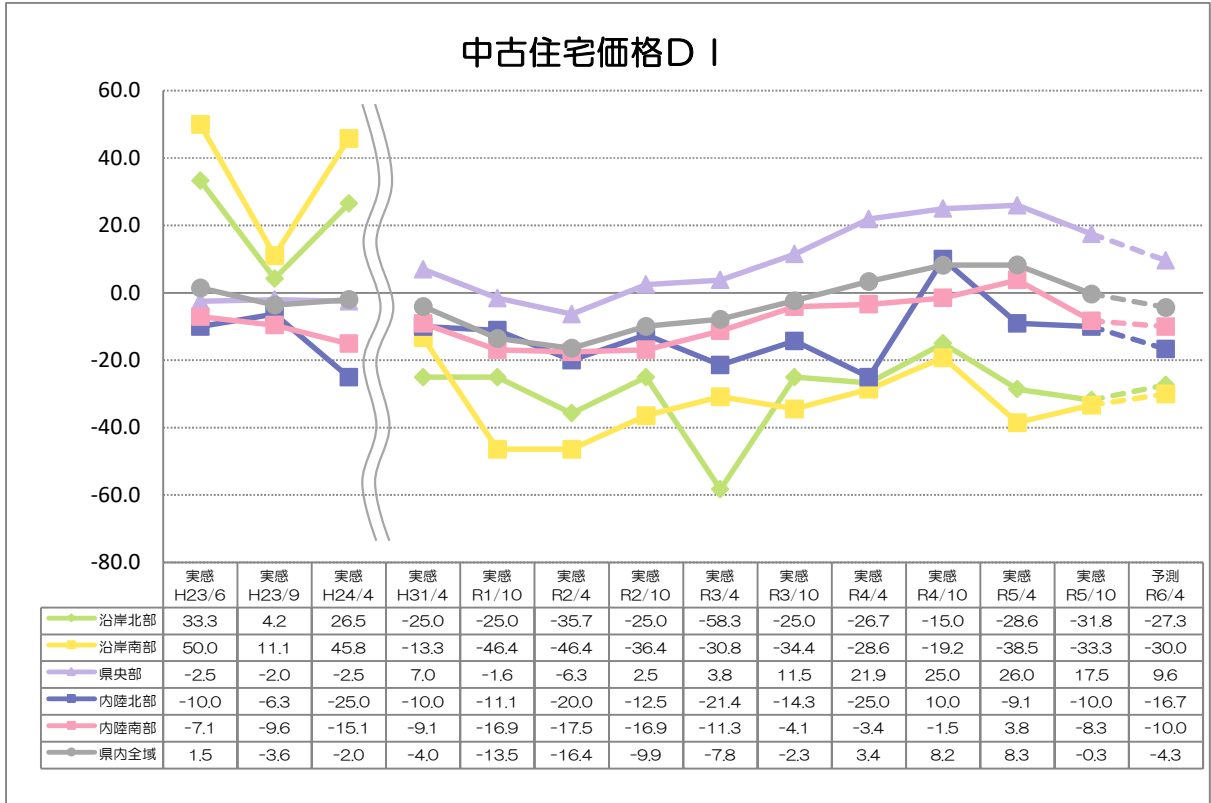


問5、6

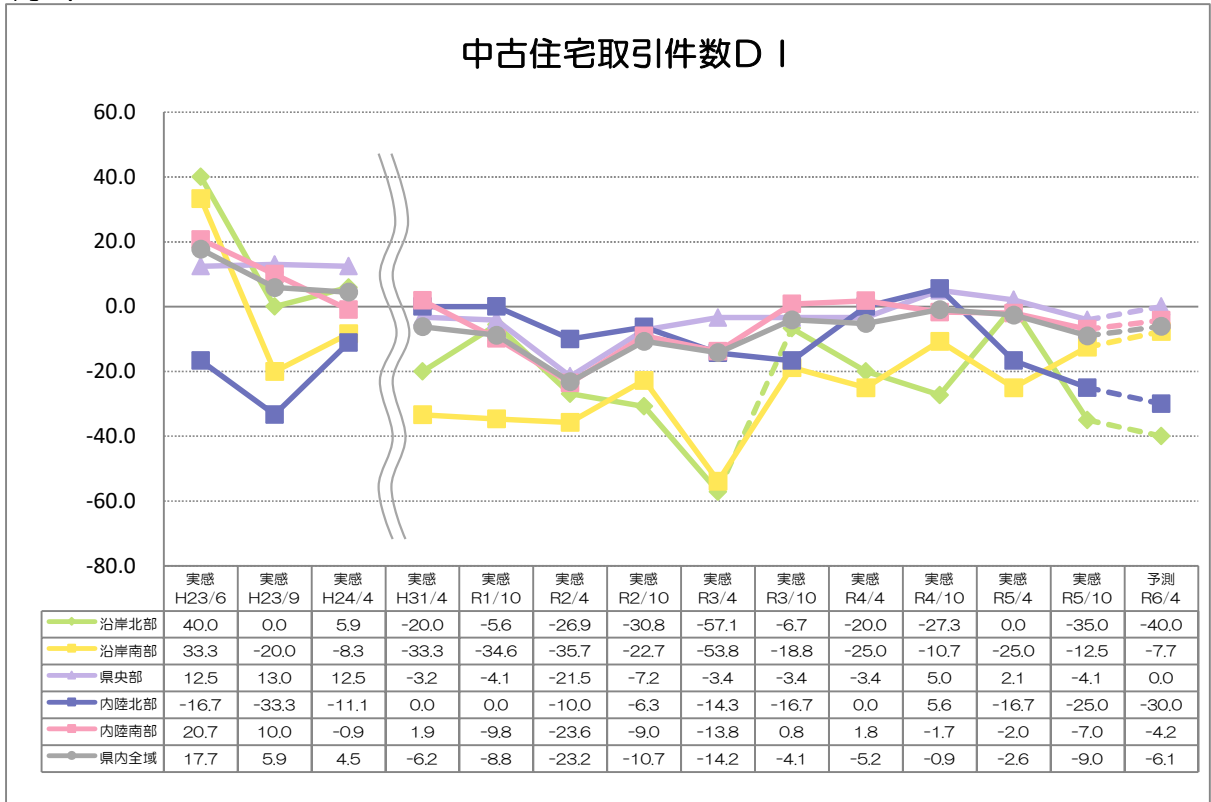


- 産業用地価格DIIは、実感は県央部及び内陸南部がプラス、予測は県央部のみプラス。
- 産業用地取引件数DIIは、実感・予測ともに全地域がマイナス。

問3、4

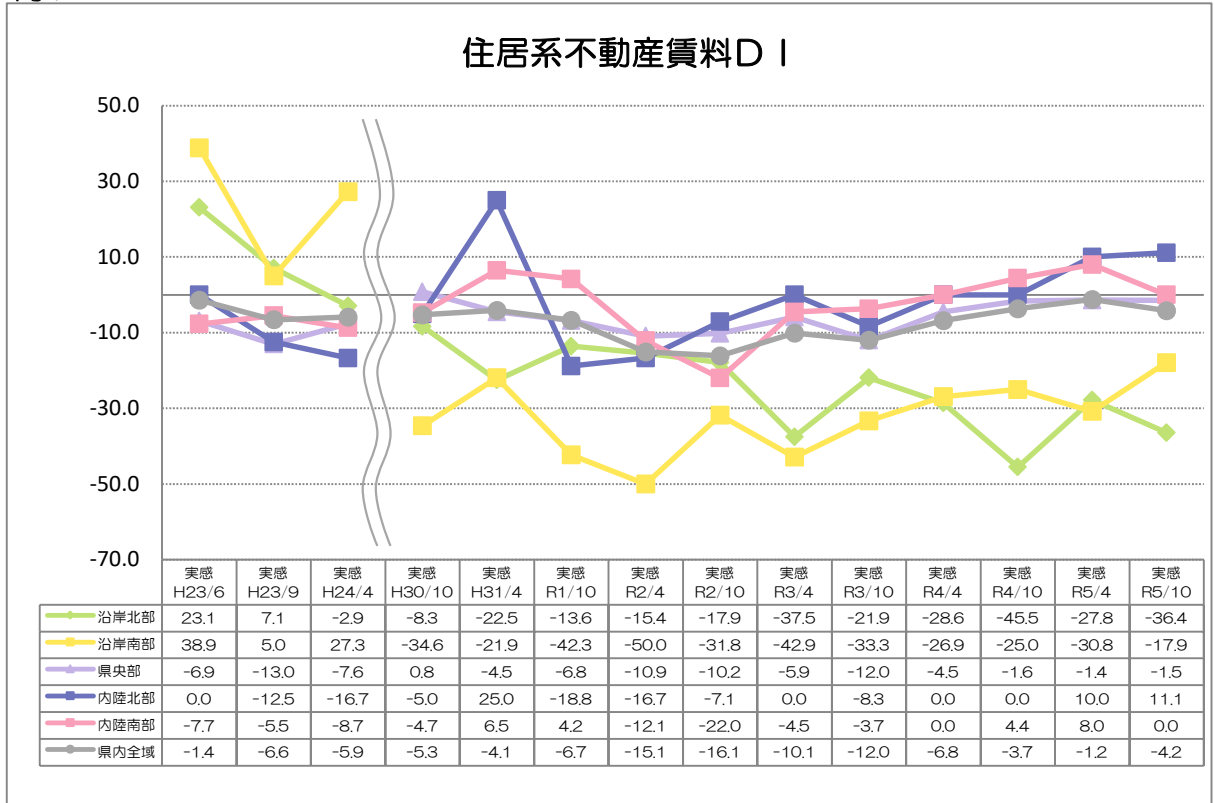


問5、6

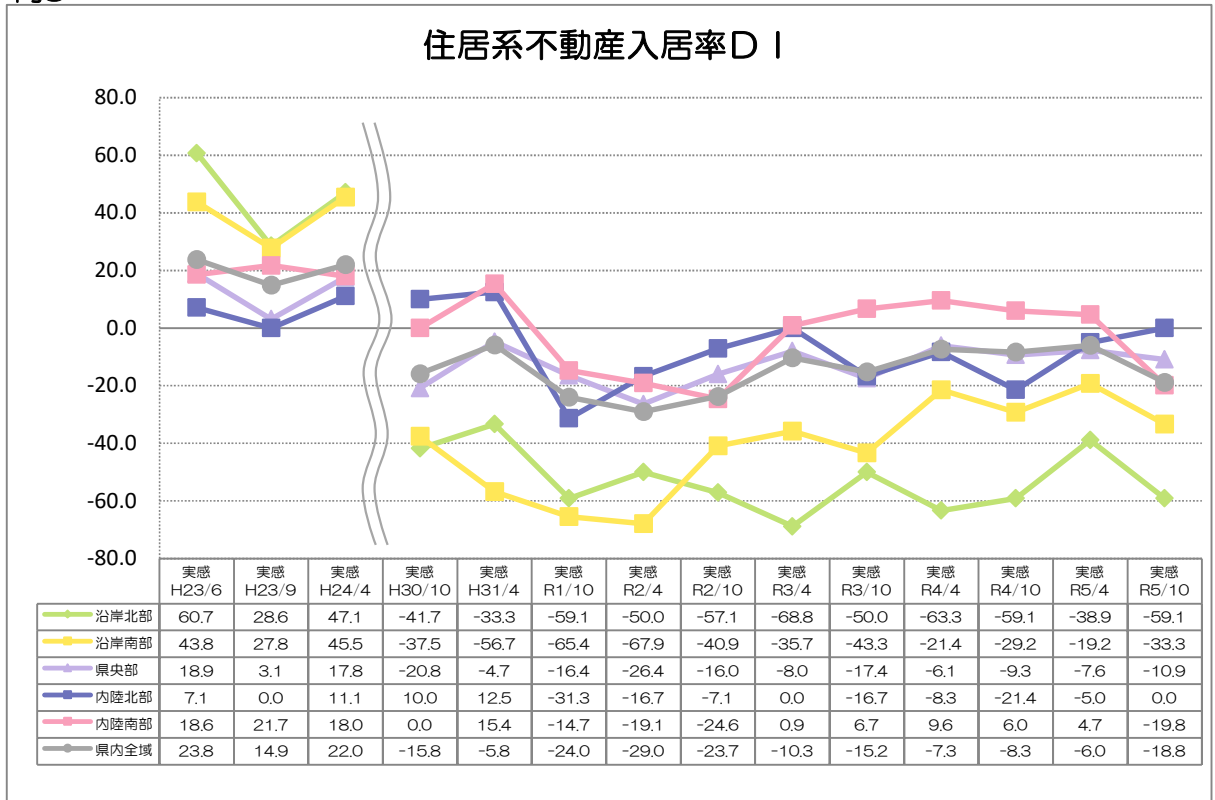


- 中古住宅価格DIは、内陸南部の実感がマイナスに回帰し、実感・予測とも県中部のみプラス。
- 中古住宅取引件数DIは、沿岸北部及び県中部がマイナスに回帰し、実感・予測とも全ての地域でマイナス。

問7

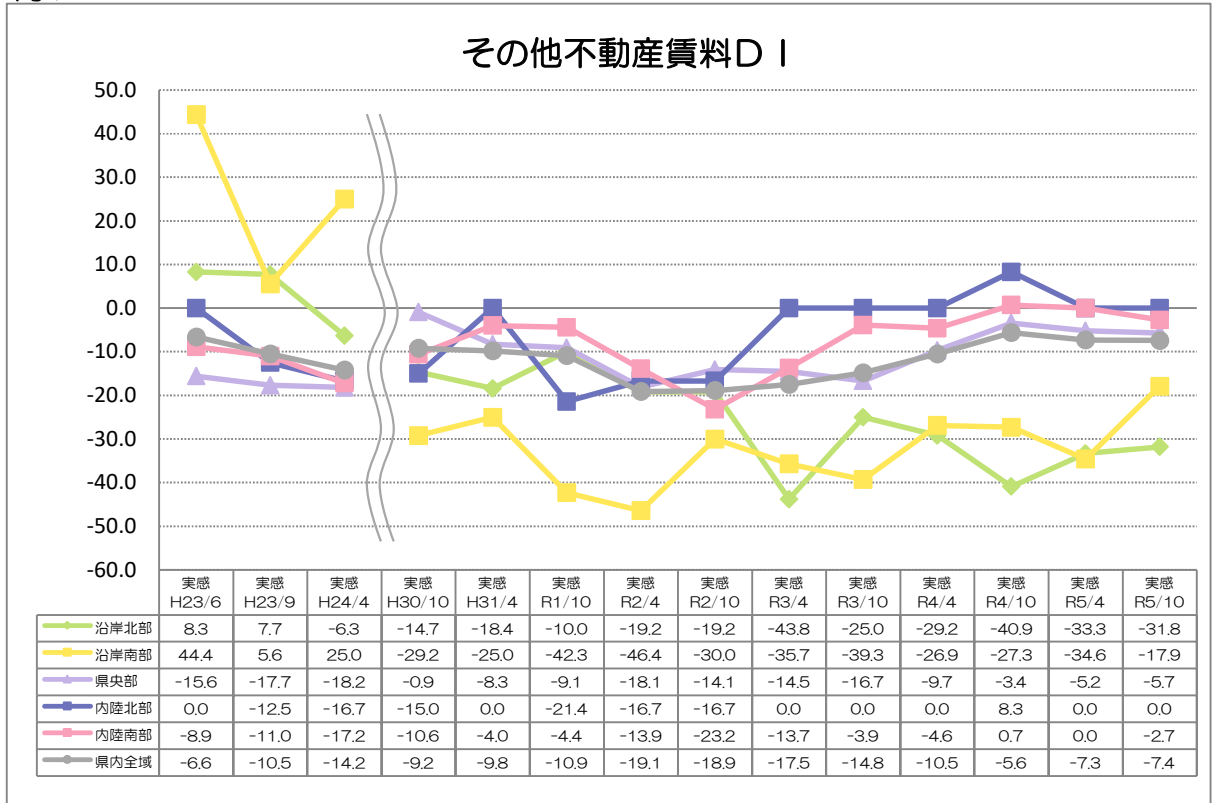


問8

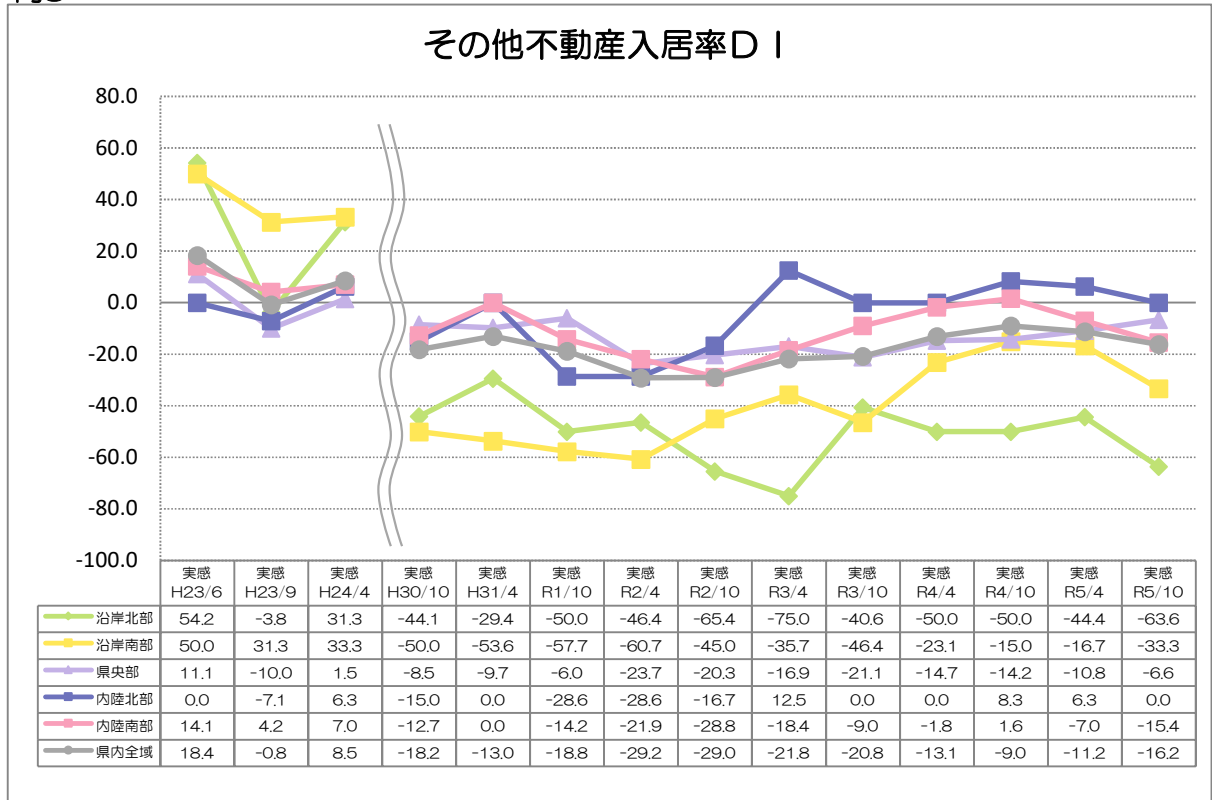


- 住居系不動産賃料DIは、内陸北部がプラス、内陸南部が横ばい、他の地域はマイナス。
- 住居系不動産入居率DIは、内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。

問7



問8



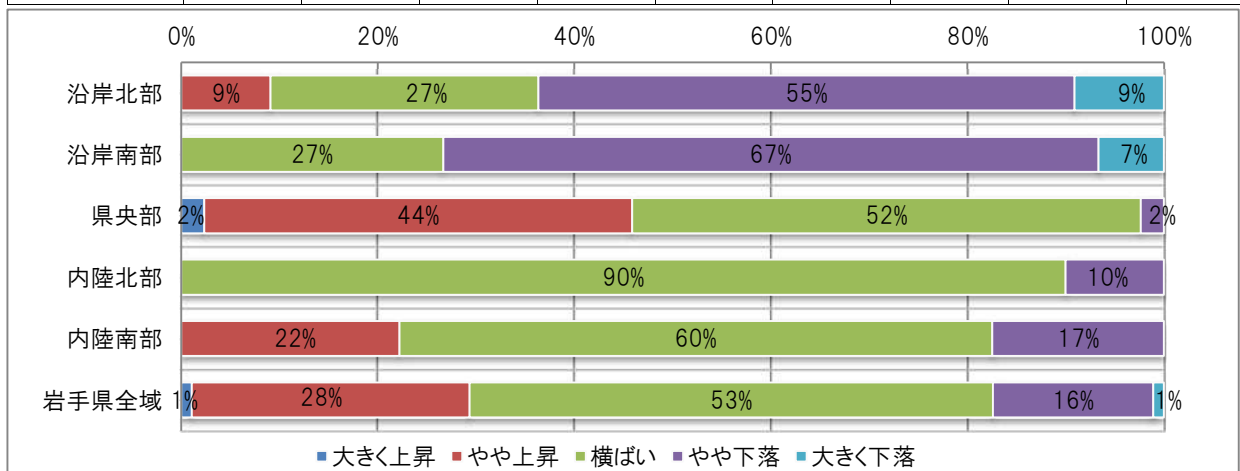
- その他不動産賃料DIは、内陸北部が横ばい、他の地域はマイナス。
- その他不動産入居率DIも、内陸北部が横ばいで、他の地域はマイナス。

2. 設問ごとの回答内訳

問3:取引価格の6ヶ月前(R5.4.1時点)との比較 ①

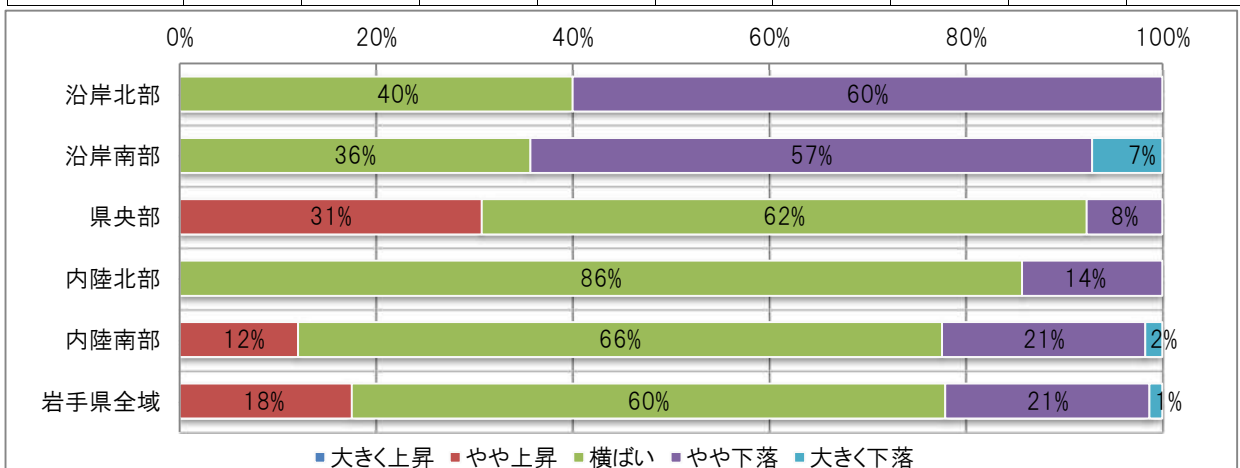
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-31.8	0	1	3	6	1	11	1	12
		0%	9%	27%	55%	9%	100%		
沿岸南部	-40.0	0	0	4	10	1	15	1	16
		0%	0%	27%	67%	7%	100%		
県央部	22.9	2	37	44	2	0	85	6	91
		2%	44%	52%	2%	0%	100%		
内陸北部	-5.0	0	0	9	1	0	10	0	10
		0%	0%	90%	10%	0%	100%		
内陸南部	2.4	0	14	38	11	0	63	6	69
		0%	22%	60%	17%	0%	100%		
岩手県全域	6.0	2	52	98	30	2	184	14	198
		1%	28%	53%	16%	1%	100%		



【商業地】

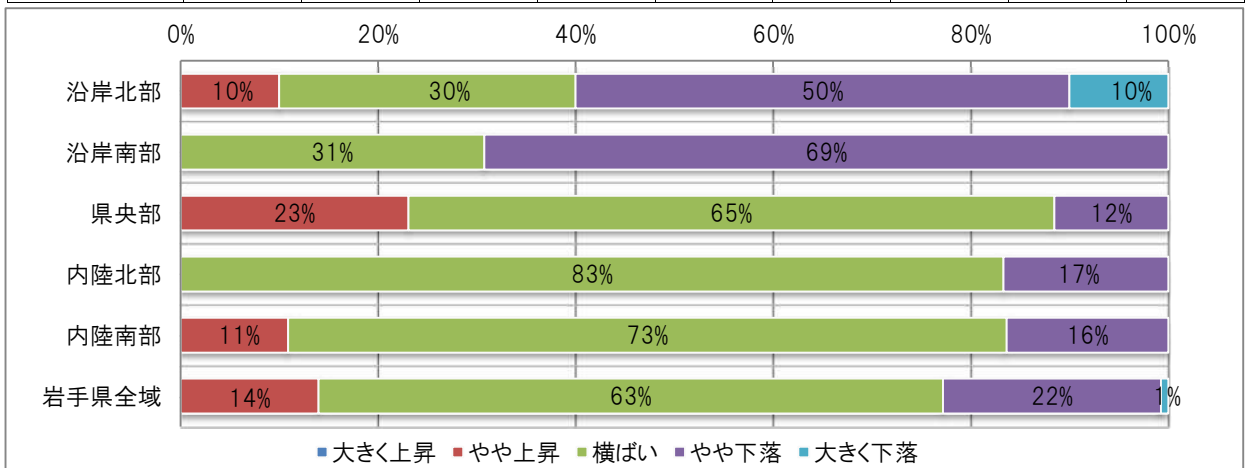
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-30.0	0	0	4	6	0	10	2	12
		0%	0%	40%	60%	0%	100%		
沿岸南部	-35.7	0	0	5	8	1	14	2	16
		0%	0%	36%	57%	7%	100%		
県央部	11.5	0	20	40	5	0	65	26	91
		0%	31%	62%	8%	0%	100%		
内陸北部	-7.1	0	0	6	1	0	7	3	10
		0%	0%	86%	14%	0%	100%		
内陸南部	-6.0	0	7	38	12	1	58	11	69
		0%	12%	66%	21%	2%	100%		
岩手県全域	-2.9	0	27	93	32	2	154	44	198
		0%	18%	60%	21%	1%	100%		



問3:取引価格の6ヶ月前(R5.4.1時点)との比較 ②

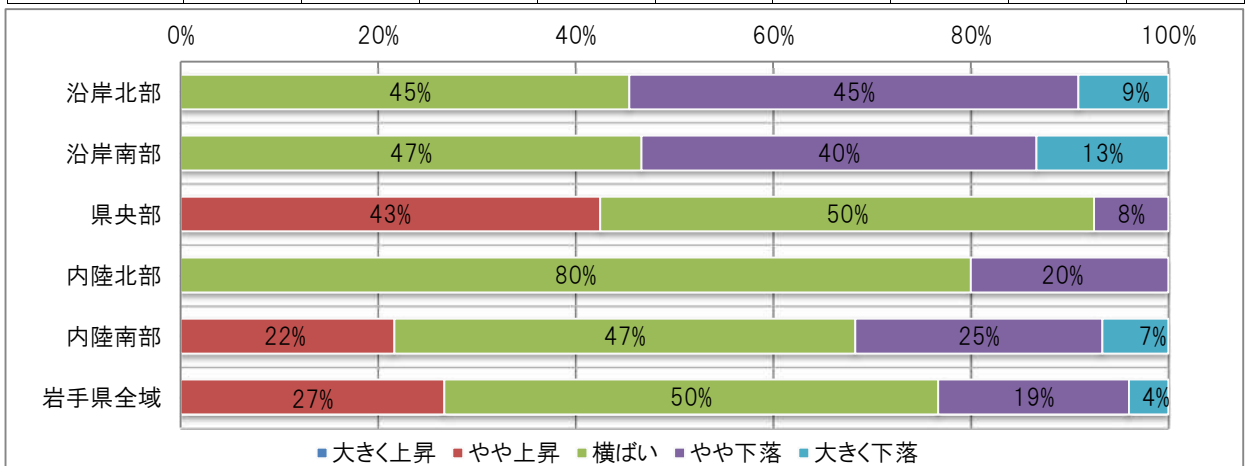
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-30.0	0	1	3	5	1	10	2	12
		0%	10%	30%	50%	10%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	4	9	0	13	3	16
		0%	0%	31%	69%	0%	100%		
県央部	5.8	0	12	34	6	0	52	39	91
		0%	23%	65%	12%	0%	100%		
内陸北部	-8.3	0	0	5	1	0	6	4	10
		0%	0%	83%	17%	0%	100%		
内陸南部	-2.7	0	6	40	9	0	55	14	69
		0%	11%	73%	16%	0%	100%		
岩手県全域	-4.8	0	19	86	30	1	136	62	198
		0%	14%	63%	22%	1%	100%		



【中古住宅】

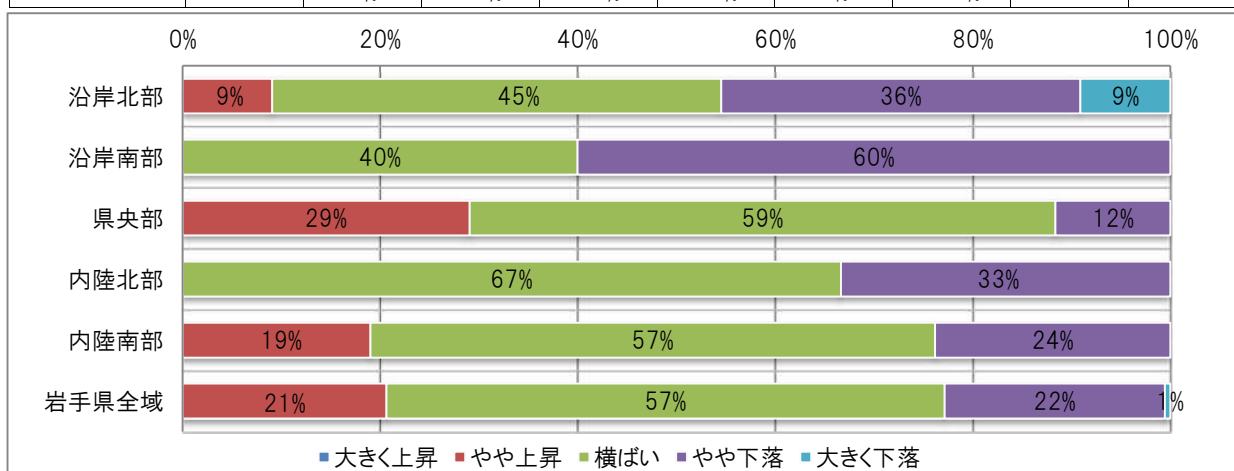
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-31.8	0	0	5	5	1	11	1	12
		0%	0%	45%	45%	9%	100%		
沿岸南部	-33.3	0	0	7	6	2	15	1	16
		0%	0%	47%	40%	13%	100%		
県央部	17.5	0	34	40	6	0	80	11	91
		0%	43%	50%	8%	0%	100%		
内陸北部	-10.0	0	0	8	2	0	10	0	10
		0%	0%	80%	20%	0%	100%		
内陸南部	-8.3	0	13	28	15	4	60	9	69
		0%	22%	47%	25%	7%	100%		
岩手県全域	-0.3	0	47	88	34	7	176	22	198
		0%	27%	50%	19%	4%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ①

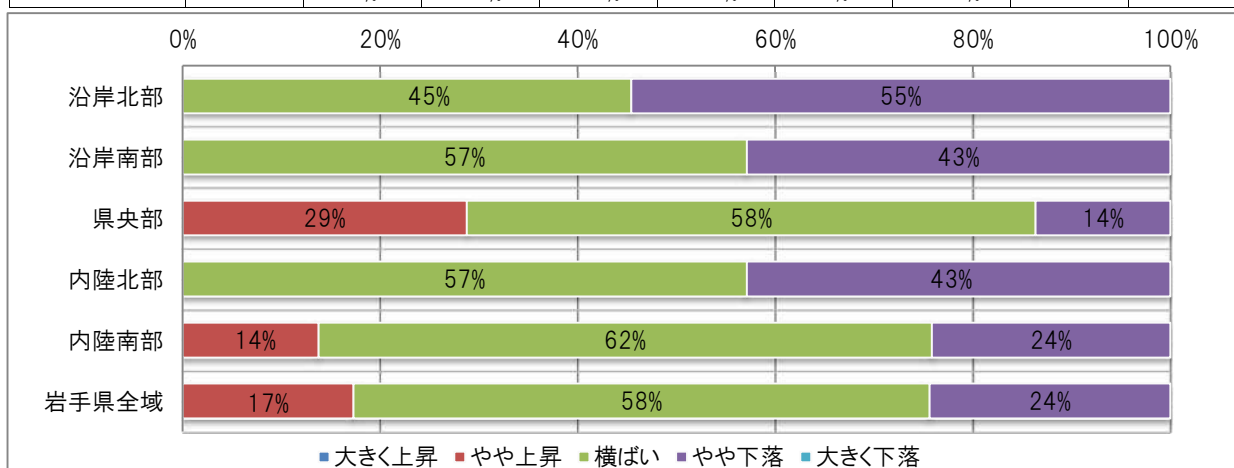
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-22.7	0	1	5	4	1	11	1	12
		0%	9%	45%	36%	9%	100%		
沿岸南部	-30.0	0	0	6	9	0	15	1	16
		0%	0%	40%	60%	0%	100%		
県央部	8.7	0	25	51	10	0	86	5	91
		0%	29%	59%	12%	0%	100%		
内陸北部	-16.7	0	0	6	3	0	9	1	10
		0%	0%	67%	33%	0%	100%		
内陸南部	-2.4	0	12	36	15	0	63	6	69
		0%	19%	57%	24%	0%	100%		
岩手県全域	-1.4	0	38	104	41	1	184	14	198
		0%	21%	57%	22%	1%	100%		



【商業地】

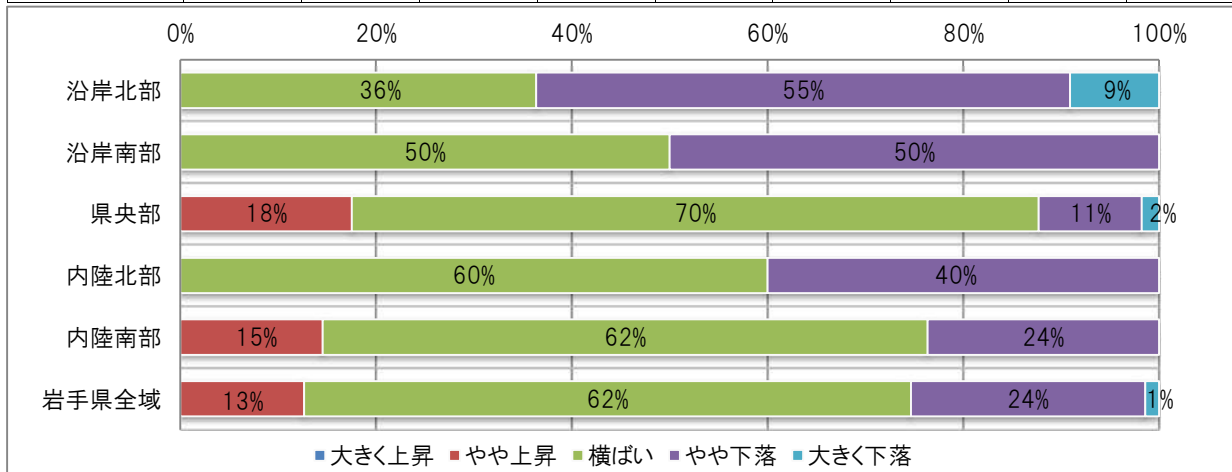
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-27.3	0	0	5	6	0	11	1	12
		0%	0%	45%	55%	0%	100%		
沿岸南部	-21.4	0	0	8	6	0	14	2	16
		0%	0%	57%	43%	0%	100%		
県央部	7.6	0	19	38	9	0	66	25	91
		0%	29%	58%	14%	0%	100%		
内陸北部	-21.4	0	0	4	3	0	7	3	10
		0%	0%	57%	43%	0%	100%		
内陸南部	-5.2	0	8	36	14	0	58	11	69
		0%	14%	62%	24%	0%	100%		
岩手県全域	-3.5	0	27	91	38	0	156	42	198
		0%	17%	58%	24%	0%	100%		



問4:6ヶ月後の取引価格の予測 ②

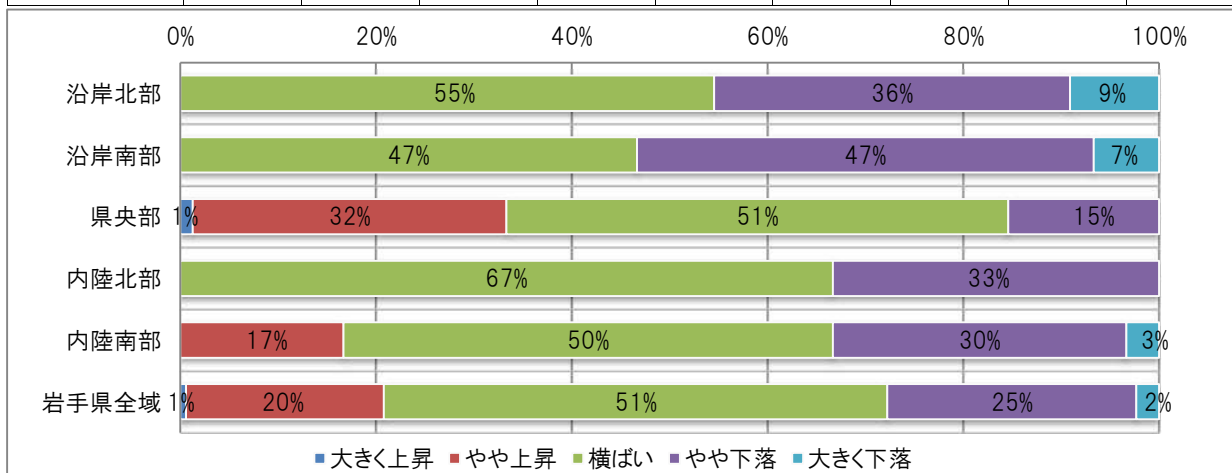
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-36.4	0	0	4	6	1	11	1	12
		0%	0%	36%	55%	9%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	0	7	7	0	14	2	16
		0%	0%	50%	50%	0%	100%		
県央部	1.8	0	10	40	6	1	57	34	91
		0%	18%	70%	11%	2%	100%		
内陸北部	-20.0	0	0	3	2	0	5	5	10
		0%	0%	60%	40%	0%	100%		
内陸南部	-4.5	0	8	34	13	0	55	14	69
		0%	15%	62%	24%	0%	100%		
岩手県全域	-7.0	0	18	88	34	2	142	56	198
		0%	13%	62%	24%	1%	100%		



【中古住宅】

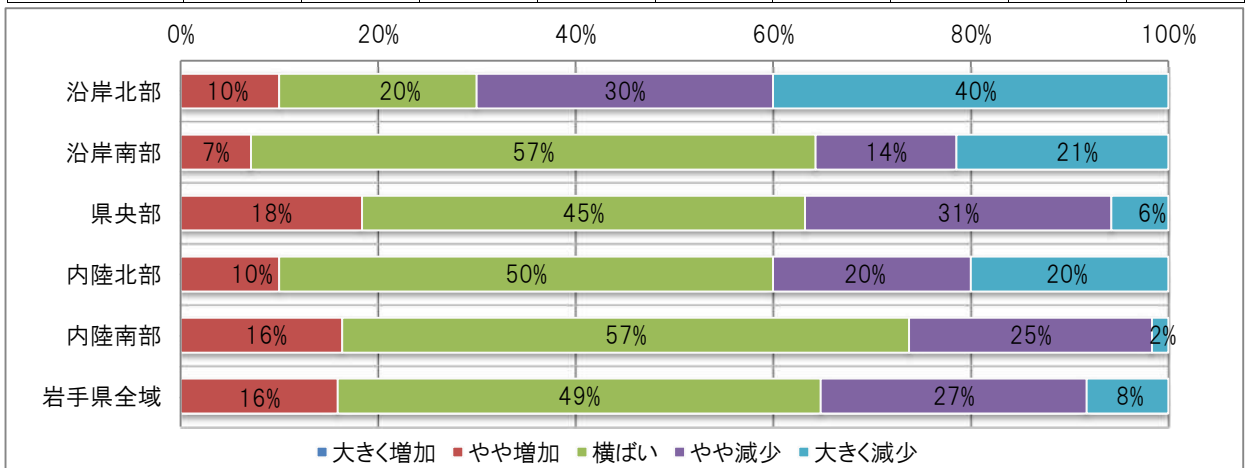
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-27.3	0	0	6	4	1	11	1	12
		0%	0%	55%	36%	9%	100%		
沿岸南部	-30.0	0	0	7	7	1	15	1	16
		0%	0%	47%	47%	7%	100%		
県央部	9.6	1	25	40	12	0	78	13	91
		1%	32%	51%	15%	0%	100%		
内陸北部	-16.7	0	0	6	3	0	9	1	10
		0%	0%	67%	33%	0%	100%		
内陸南部	-10.0	0	10	30	18	2	60	9	69
		0%	17%	50%	30%	3%	100%		
岩手県全域	-4.3	1	35	89	44	4	173	25	198
		1%	20%	51%	25%	2%	100%		



問5:取引件数の6ヶ月前(R5.4.1時点)との比較 ①

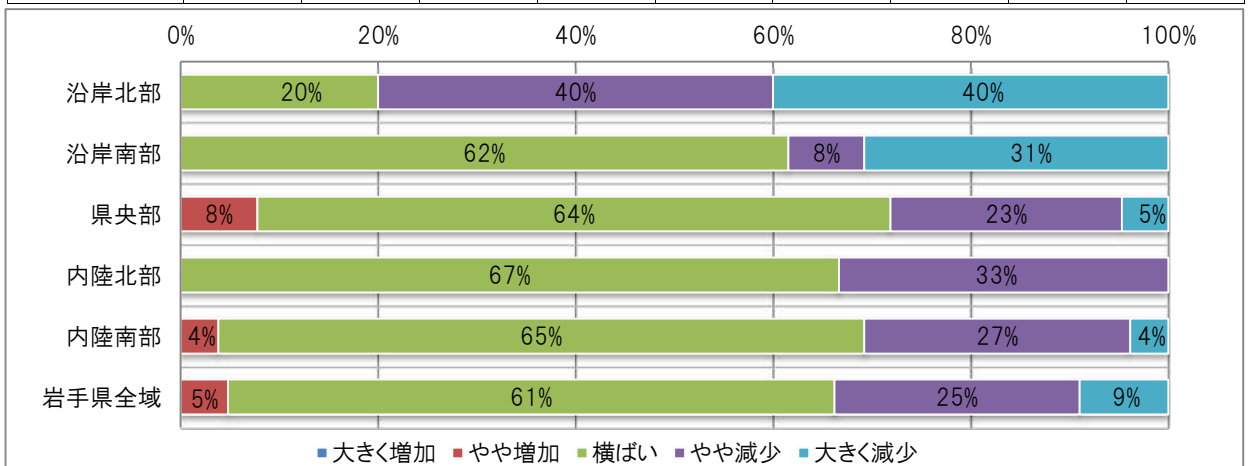
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-50.0	0	1	2	3	4	10	2	12
		0%	10%	20%	30%	40%	100%		
沿岸南部	-25.0	0	1	8	2	3	14	2	16
		0%	7%	57%	14%	21%	100%		
県央部	-12.1	0	16	39	27	5	87	4	91
		0%	18%	45%	31%	6%	100%		
内陸北部	-25.0	0	1	5	2	2	10	0	10
		0%	10%	50%	20%	20%	100%		
内陸南部	-5.7	0	10	35	15	1	61	8	69
		0%	16%	57%	25%	2%	100%		
岩手県全域	-13.7	0	29	89	49	15	182	16	198
		0%	16%	49%	27%	8%	100%		



【商業地】

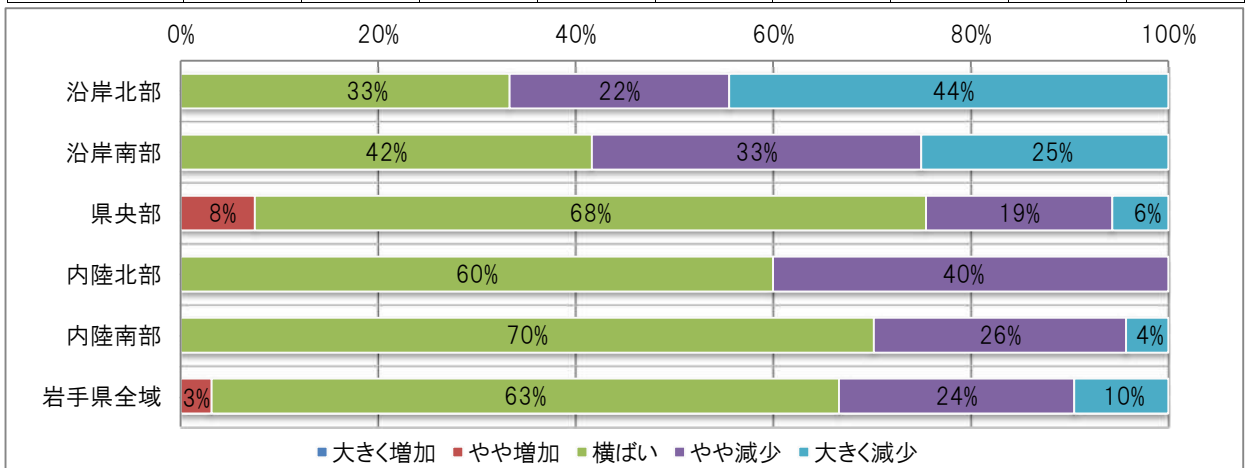
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-60.0	0	0	2	4	4	10	2	12
		0%	0%	20%	40%	40%	100%		
沿岸南部	-34.6	0	0	8	1	4	13	3	16
		0%	0%	62%	8%	31%	100%		
県央部	-12.5	0	5	41	15	3	64	27	91
		0%	8%	64%	23%	5%	100%		
内陸北部	-16.7	0	0	4	2	0	6	4	10
		0%	0%	67%	33%	0%	100%		
内陸南部	-15.4	0	2	34	14	2	52	17	69
		0%	4%	65%	27%	4%	100%		
岩手県全域	-19.0	0	7	89	36	13	145	53	198
		0%	5%	61%	25%	9%	100%		



問5:取引件数の6ヶ月前(R5.4.1時点)との比較 ②

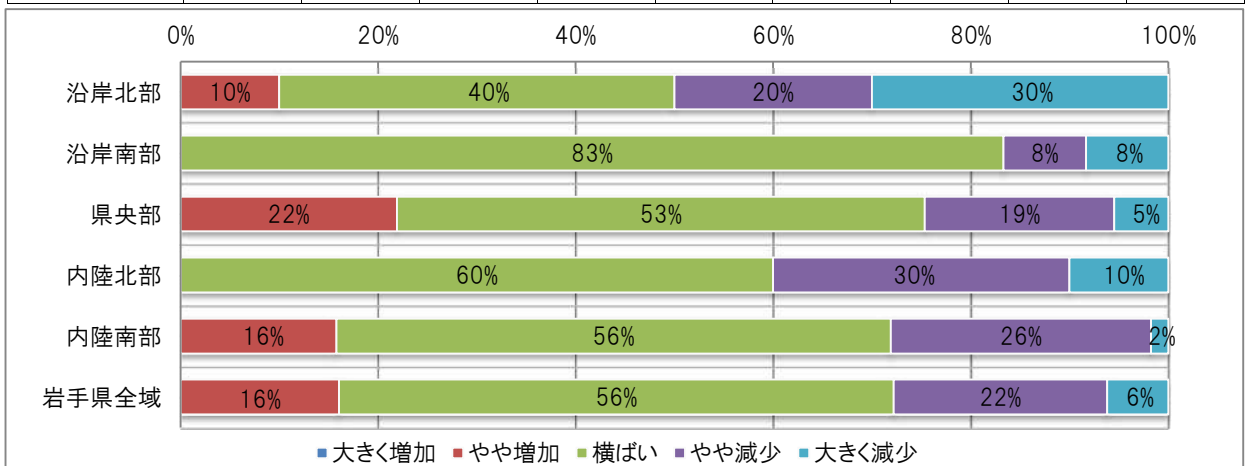
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-55.6	0	0	3	2	4	9	3	12
		0%	0%	33%	22%	44%	100%		
沿岸南部	-41.7	0	0	5	4	3	12	4	16
		0%	0%	42%	33%	25%	100%		
県央部	-11.3	0	4	36	10	3	53	38	91
		0%	8%	68%	19%	6%	100%		
内陸北部	-20.0	0	0	3	2	0	5	5	10
		0%	0%	60%	40%	0%	100%		
内陸南部	-17.0	0	0	33	12	2	47	22	69
		0%	0%	70%	26%	4%	100%		
岩手県全域	-19.8	0	4	80	30	12	126	72	198
		0%	3%	63%	24%	10%	100%		



【中古住宅】

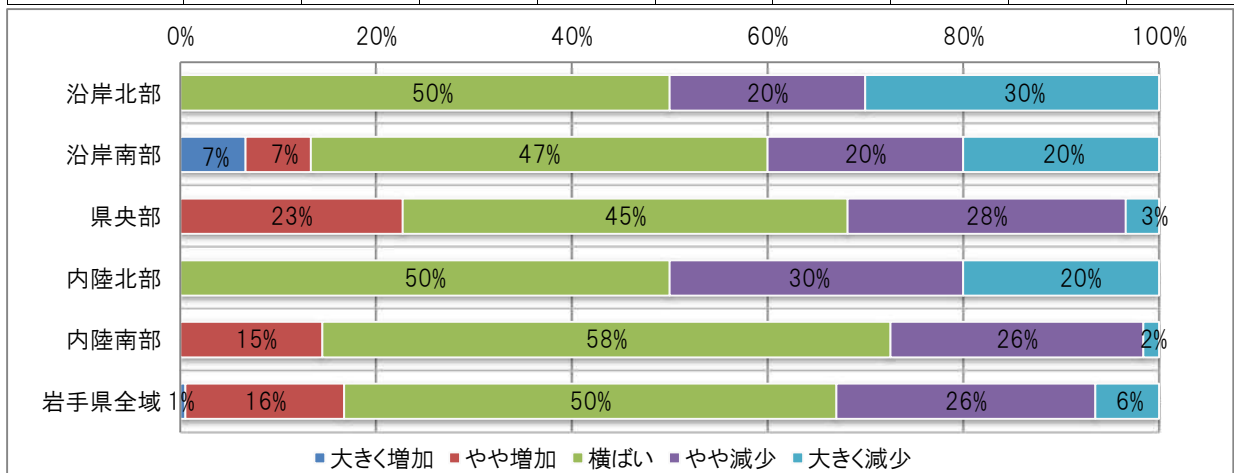
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-35.0	0	1	4	2	3	10	2	12
		0%	10%	40%	20%	30%	100%		
沿岸南部	-12.5	0	0	10	1	1	12	4	16
		0%	0%	83%	8%	8%	100%		
県央部	-4.1	0	16	39	14	4	73	18	91
		0%	22%	53%	19%	5%	100%		
内陸北部	-25.0	0	0	6	3	1	10	0	10
		0%	0%	60%	30%	10%	100%		
内陸南部	-7.0	0	9	32	15	1	57	12	69
		0%	16%	56%	26%	2%	100%		
岩手県全域	-9.0	0	26	91	35	10	162	36	198
		0%	16%	56%	22%	6%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ①

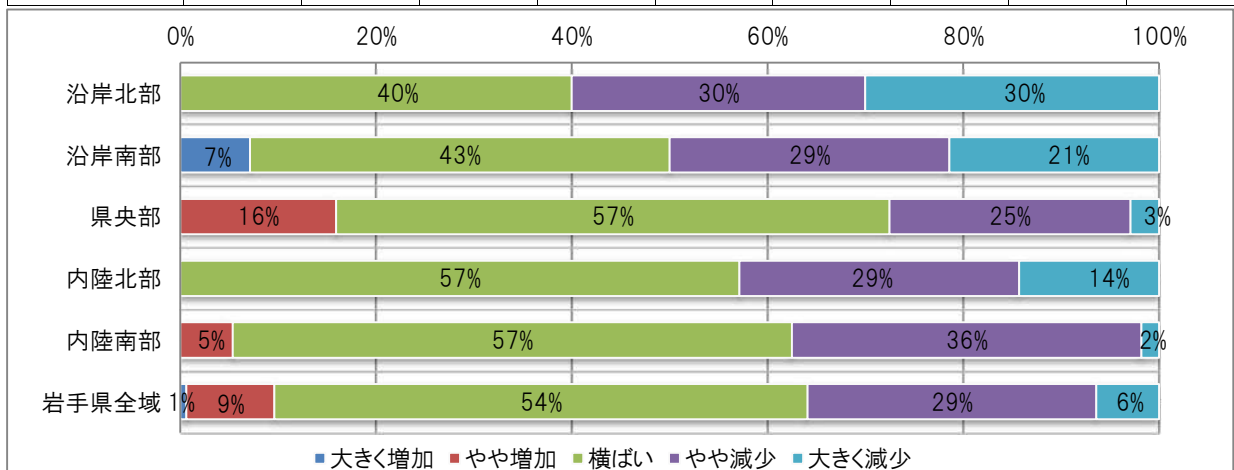
【住宅地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-40.0	0	0	5	2	3	10	2	12
		0%	0%	50%	20%	30%	100%		
沿岸南部	-20.0	1	1	7	3	3	15	1	16
		7%	7%	47%	20%	20%	100%		
県央部	-6.3	0	20	40	25	3	88	3	91
		0%	23%	45%	28%	3%	100%		
内陸北部	-35.0	0	0	5	3	2	10	0	10
		0%	0%	50%	30%	20%	100%		
内陸南部	-7.3	0	9	36	16	1	62	7	69
		0%	15%	58%	26%	2%	100%		
岩手県全域	-11.1	1	30	93	49	12	185	13	198
		1%	16%	50%	26%	6%	100%		



【商業地】

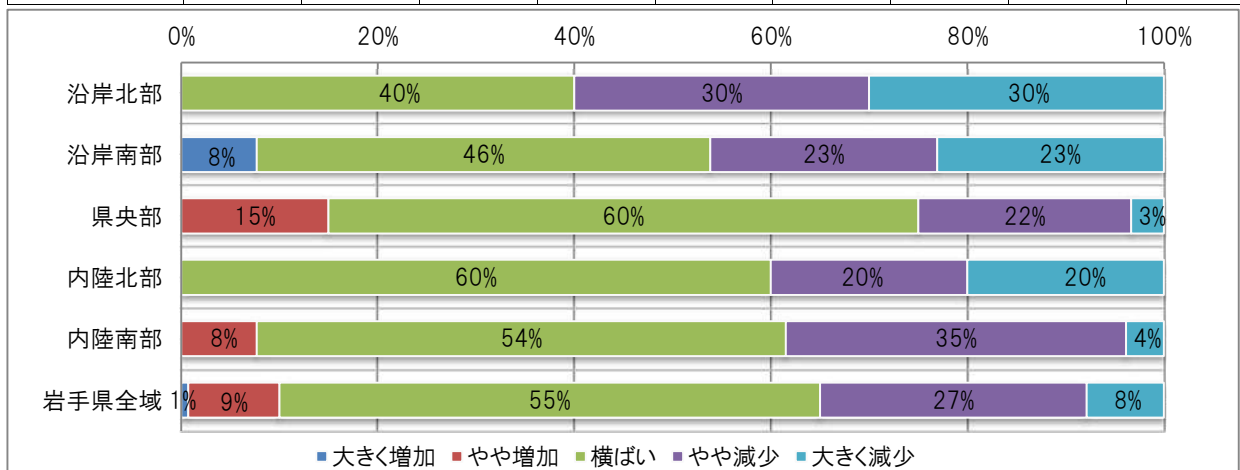
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.0	0	0	4	3	3	10	2	12
		0%	0%	40%	30%	30%	100%		
沿岸南部	-28.6	1	0	6	4	3	14	2	16
		7%	0%	43%	29%	21%	100%		
県央部	-7.2	0	11	39	17	2	69	22	91
		0%	16%	57%	25%	3%	100%		
内陸北部	-28.6	0	0	4	2	1	7	3	10
		0%	0%	57%	29%	14%	100%		
内陸南部	-17.0	0	3	32	20	1	56	13	69
		0%	5%	57%	36%	2%	100%		
岩手県全域	-16.0	1	14	85	46	10	156	42	198
		1%	9%	54%	29%	6%	100%		



問6:6ヶ月後の取引件数の予測 ②

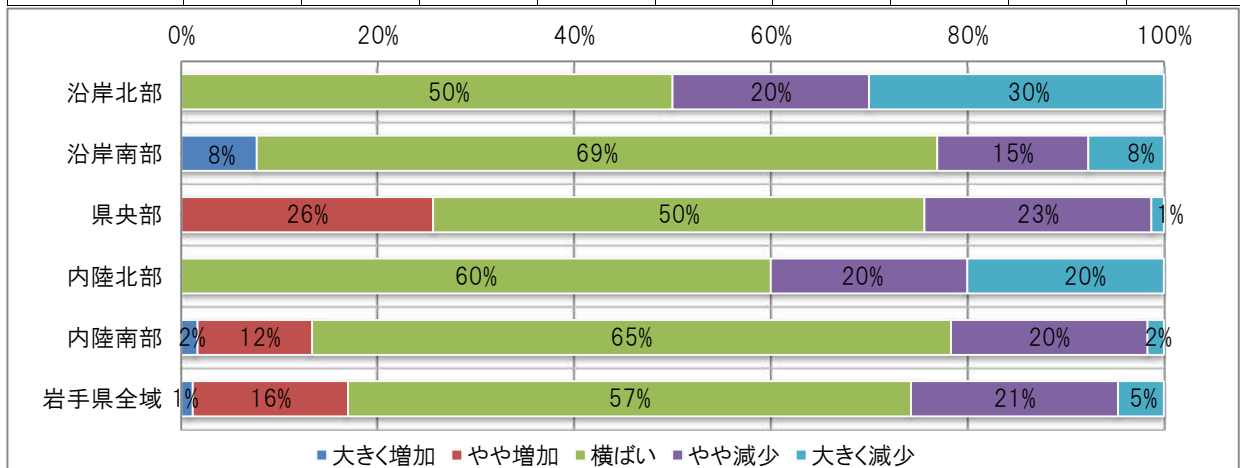
【産業用地】

エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-45.0	0	0	4	3	3	10	2	12
		0%	0%	40%	30%	30%	100%		
沿岸南部	-26.9	1	0	6	3	3	13	3	16
		8%	0%	46%	23%	23%	100%		
県央部	-6.7	0	9	36	13	2	60	31	91
		0%	15%	60%	22%	3%	100%		
内陸北部	-30.0	0	0	3	1	1	5	5	10
		0%	0%	60%	20%	20%	100%		
内陸南部	-17.3	0	4	28	18	2	52	17	69
		0%	8%	54%	35%	4%	100%		
岩手県全域	-16.1	1	13	77	38	11	140	58	198
		1%	9%	55%	27%	8%	100%		



【中古住宅】

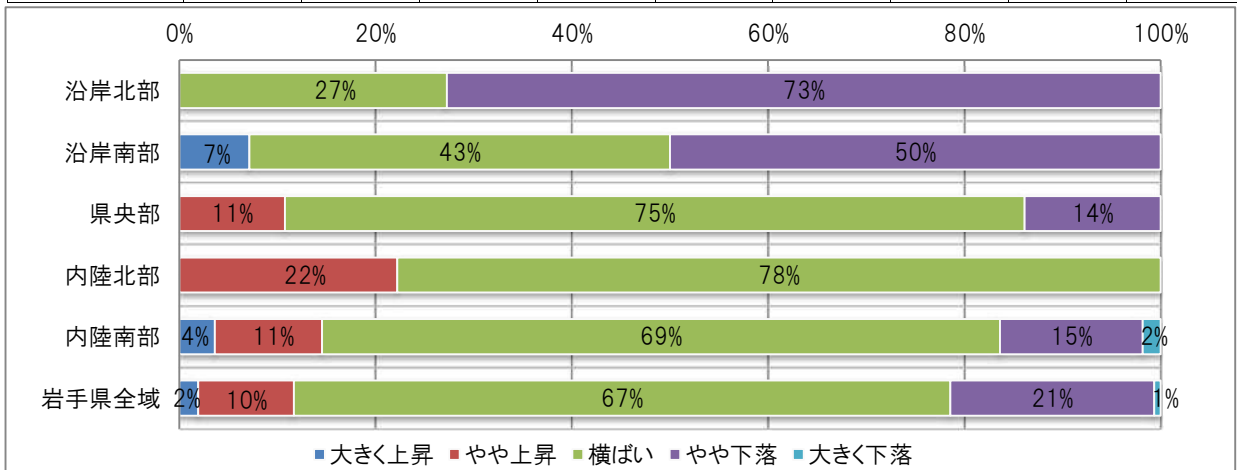
エリア	動向指数	大きく増加	やや増加	横ばい	やや減少	大きく減少	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-40.0	0	0	5	2	3	10	2	12
		0%	0%	50%	20%	30%	100%		
沿岸南部	-7.7	1	0	9	2	1	13	3	16
		8%	0%	69%	15%	8%	100%		
県央部	0.0	0	20	39	18	1	78	13	91
		0%	26%	50%	23%	1%	100%		
内陸北部	-30.0	0	0	6	2	2	10	0	10
		0%	0%	60%	20%	20%	100%		
内陸南部	-4.2	1	7	39	12	1	60	9	69
		2%	12%	65%	20%	2%	100%		
岩手県全域	-6.1	2	27	98	36	8	171	27	198
		1%	16%	57%	21%	5%	100%		



問7: 賃料の6ヶ月前(R5.4.1時点)との比較

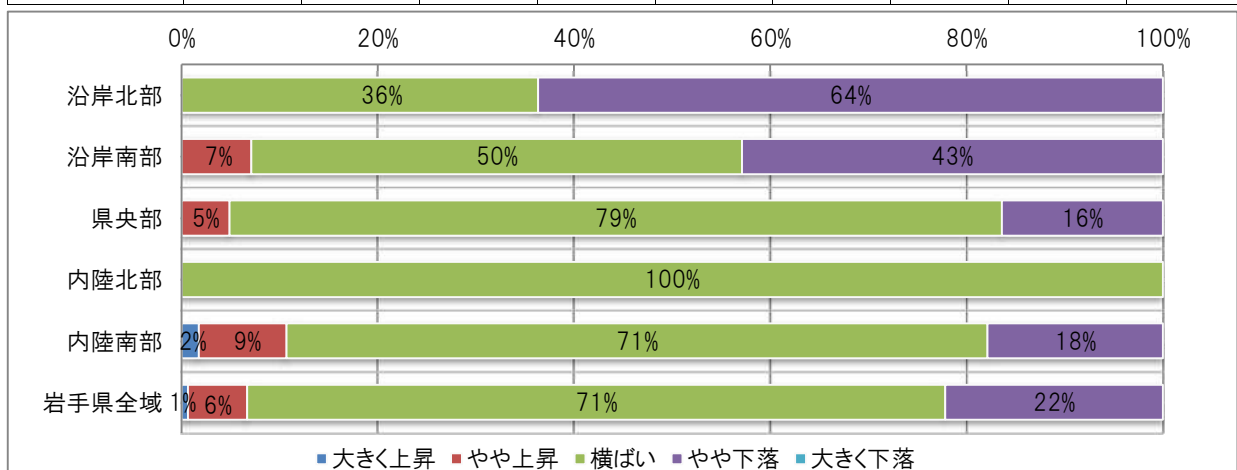
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-36.4	0	0	3	8	0	11	1	12
		0%	0%	27%	73%	0%	100%		
沿岸南部	-17.9	1	0	6	7	0	14	2	16
		7%	0%	43%	50%	0%	100%		
県央部	-1.5	0	7	49	9	0	65	26	91
		0%	11%	75%	14%	0%	100%		
内陸北部	11.1	0	2	7	0	0	9	1	10
		0%	22%	78%	0%	0%	100%		
内陸南部	0.0	2	6	38	8	1	55	14	69
		4%	11%	69%	15%	2%	100%		
岩手県全域	-4.2	3	15	103	32	1	154	44	198
		2%	10%	67%	21%	1%	100%		



【その他不動産】

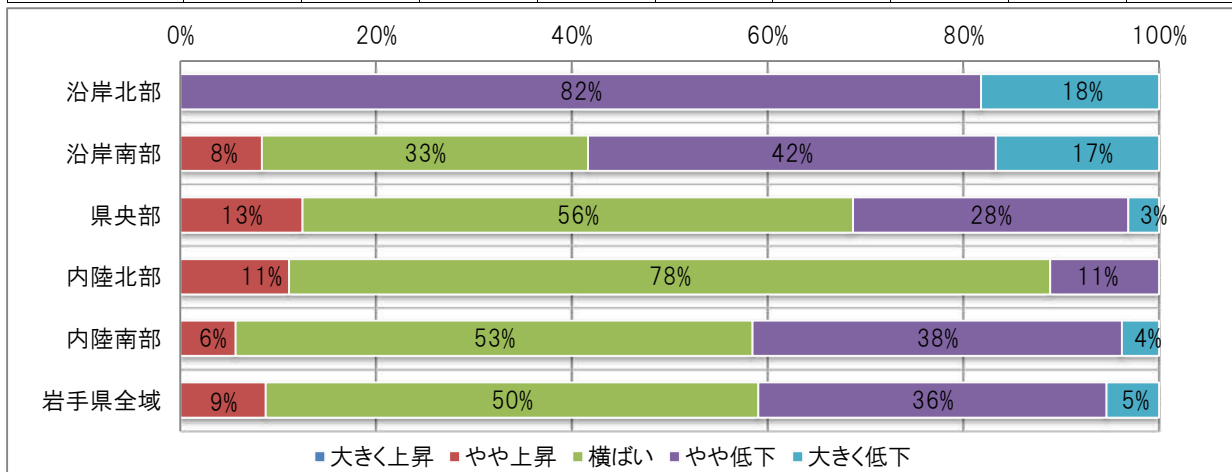
エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや下落	大きく下落	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-31.8	0	0	4	7	0	11	1	12
		0%	0%	36%	64%	0%	100%		
沿岸南部	-17.9	0	1	7	6	0	14	2	16
		0%	7%	50%	43%	0%	100%		
県央部	-5.7	0	3	48	10	0	61	30	91
		0%	5%	79%	16%	0%	100%		
内陸北部	0.0	0	0	7	0	0	7	3	10
		0%	0%	100%	0%	0%	100%		
内陸南部	-2.7	1	5	40	10	0	56	13	69
		2%	9%	71%	18%	0%	100%		
岩手県全域	-7.4	1	9	106	33	0	149	49	198
		1%	6%	71%	22%	0%	100%		



問8:入居率の6ヶ月前(R5.4.1時点)との比較

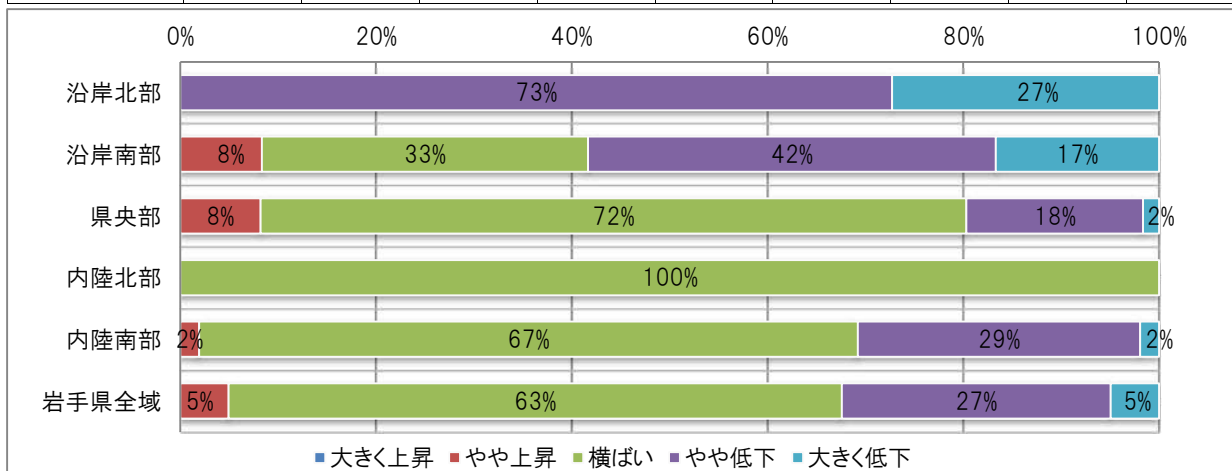
【住居系不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-59.1	0	0	0	9	2	11	1	12
		0%	0%	0%	82%	18%	100%		
沿岸南部	-33.3	0	1	4	5	2	12	4	16
		0%	8%	33%	42%	17%	100%		
県央部	-10.9	0	8	36	18	2	64	27	91
		0%	13%	56%	28%	3%	100%		
内陸北部	0.0	0	1	7	1	0	9	1	10
		0%	11%	78%	11%	0%	100%		
内陸南部	-19.8	0	3	28	20	2	53	16	69
		0%	6%	53%	38%	4%	100%		
岩手県全域	-18.8	0	13	75	53	8	149	49	198
		0%	9%	50%	36%	5%	100%		



【その他不動産】

エリア	動向指数	大きく上昇	やや上昇	横ばい	やや低下	大きく低下	小計	不明 無回答	合計
沿岸北部	-63.6	0	0	0	8	3	11	1	12
		0%	0%	0%	73%	27%	100%		
沿岸南部	-33.3	0	1	4	5	2	12	4	16
		0%	8%	33%	42%	17%	100%		
県央部	-6.6	0	5	44	11	1	61	30	91
		0%	8%	72%	18%	2%	100%		
内陸北部	0.0	0	0	6	0	0	6	4	10
		0%	0%	100%	0%	0%	100%		
内陸南部	-15.4	0	1	35	15	1	52	17	69
		0%	2%	67%	29%	2%	100%		
岩手県全域	-16.2	0	7	89	39	7	142	56	198
		0%	5%	63%	27%	5%	100%		



お問い合わせ窓口

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会

調査研究委員長 貝原 敦（不動産鑑定士）
（所属） 一般財団法人 日本不動産研究所 盛岡支所
〒020-0026 盛岡市開運橋通1番1号アクア盛岡ビル3F
電話019-652-1821 FAX019-654-2845

調査研究委員 新沼 輝雄（不動産鑑定士）
（所属） 新沼不動産鑑定事務所
〒020-0873 盛岡市松尾町1-7
電話019-613-9292 FAX019-613-9293

一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県宅地建物取引業協会
代表者名：会長 多田 幸司
発足：昭和42年7月
会員数：594会員（準会員を含む）
所在地：盛岡市前九年1-9-30
電話番号：019-646-1111

公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部の概要

団体名：公益社団法人 全日本不動産協会岩手県本部
代表者名：本部長 浅沼 儀洋
発足：昭和36年11月
会員数：133会員
所在地：盛岡市八幡町1番9-101
電話番号：019-625-5900

一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会の概要

団体名：一般社団法人 岩手県不動産鑑定士協会
代表者名：会長 佐藤 真
発足：平成21年4月
会員数：不動産鑑定士26名、不動産鑑定業者24社
所在地：盛岡市大通1-3-4 宏陽ビル6階
電話番号：019-604-3070

※ 無断複製転載を禁じます。